

Ⅲ. 2014 年度事業実績詳細

I. 多様な人々が尊重される地域づくり事業

1. 市民主体の国際交流活動推進事業

(1) 情報サービス事業

◆ 情報発信をコンセプトに、以下について毎月掲載した。

- ① 協会のミッションとそれに基づく活動を伝えること
- ② 在住外国人に関する基礎的情報を提供すること
- ③ 地域で生活する外国人へ多言語での情報

表紙のデザインは、地域の高校との連携推進の一環として、大阪府立池田高校美術部と大阪府立桜塚高校美術部の高校生ボランティアにお願いした。

ニュースレターを日本語版と多言語版に分け、日本語版は「とよなか国際交流センターおしらせ」として内容はセンター事業を中心にした案内や報告を前面に掲載した。また、外国人向けには 8 言語(基本的に英語、中国語、韓国朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、フィリピン語、タイ語、インドネシア語、12 月号よりベトナム語を追加)で事業案内や生活情報発信を開始した。

<A4版8ページ 2 色刷り(61 号～72 号)各月 1700 部>

発行月	号数	主な内容
2014 年 4 月	61 号	4 年目を迎える“デザイン5”
5 月	62 号	市民セミナー案内、登録グループ・ヒアリング会の報告
6 月	63 号	市民セミナーの報告・案内
7 月	64 号	在留外国人の統計について/外国人のための防災訓練案内
8 月	65 号	市民セミナー報告/外国人のための防災訓練報告
9 月	66 号	全国在日外国人交流会報告
10 月	67 号	国際交流と人権を考えよう Part1 報告
11 月	68 号	多文化フェスティバル案内/おやこでほんご豊中市広報で紹介
12 月	69 号	関西子どもの権利条約フォーラム 2014 報告
2015 年 1 月	70 号	多文化フェスティバル報告/市民セミナー報告
2 月	71 号	「無法地帯の協議離婚～国際結婚の事例から」案内
3 月	72 号	多文化共生指針策定 1 周年記念シンポジウム案内/ 2014 年度事業評価会報告

◆ 多言語メールニュースの配信

9 月より、多言語ニュースレターの内容を毎月(基本的に第 1 金曜日)に 8 言語(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、フィリピン語、タイ語、インドネシア語)でメールニュース希望者に E メールにて配信した。(2015 年 3 月号のメールニュース配信希望者 92 人)

◆ 書籍・新聞・雑誌などの閲覧提供

雑誌の提供と収集事業。言語的マイノリティへの情報提供を積極的に行った。他、昨年度に引き続き半年毎に約 100 冊の多言語書籍が豊中市立図書館より団体貸出され、また昨年度から引き続き、図書館との連携のもと図書館の充実化を図った。

・図書類(外国語図書(絵本)含む)

貸 出		貸出件数(件)	増 刷		購入件数(件)
総 数		133	総 数		93
【内訳】	一般図書	42	【内訳】	一般図書	22
	外国語図書(絵本含む)	91		日本語学習関係	29
	<内> 中国語	(31)		辞書類	0
	スペイン語	(11)		絵本(日本語)	4
	ネパール語	(0)		外国語図書(絵本含む)	38
	タイ語	(13)		<内> 韓国語	(4)
	ポルトガル語	(7)		ポルトガル語	(1)
	韓国語	(24)		中国語	(24)
	フィリピン語	(5)		タイ語	(9)
	インドネシア語	(0)			

・定期刊行物

内 容		購入点数(単位:冊)	フリーペーパーなど(単位:誌)
定期刊行物	日本語新聞	3	
	雑誌・機関紙等	1	5
	外国語新聞	3	3

・民族楽器、民族衣装、民族教材

内 容(貸出件数)	民族衣装(13件)	民族楽器(2件)	民族教材(9件)	計:24
-----------	-----------	----------	----------	------

◆情報交換ボードの提供

情報交換ボードを設置し、利用期限を区切り自由に個人的な情報交換ができるようにした。利用件数:35件

◆ホームページ<年間ホームページ訪問者数 16,058件、多言語での情報提供ページの訪問数は1,160件>
主催事業などの新着情報を随時更新した。日本語及び多言語のニュースレターを毎月発行後にホームページ上でも読めるようにした。イベント情報を外国人向けに多言語で随時更新した。新聞記事も随時掲載した。

◆SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

Facebookならびに Twitterを利用し、毎日の活動の紹介やイベント案内、研修会の報告などをほぼ毎日継続して行った。毎日行われている事業を<本日の ATOMS>として紹介していることは、イベントという“ハレ”の舞台だけでなく、協会の普段の活動の様子を知ってもらう良い機会となっている。また、今年度は Facebook の個人ページから、より多くの人々がアクセス可能となる Facebook ページへと移行し、これまで協会とつながっていない人たちに対する情報発信を積極的に行った。

Facebook の友達数 670 人、Facebook ページの「いいね！」数 330、Twitter のフォロワー数 217 人(いずれも 3 月末日現在)

◆プレスリリースの発行:毎月メディア各社向けにプレスリリースを発行。定期的な事業周知を開始した。

◆ケーブルテレビへの出演・取材協力

ケーブルテレビの情報番組「エキスタあつまれ」(若者ダンスグループ「わたパチ」によるイベント告知)や「かたらいプラザ」(「おやこでにほんご」活動紹介、「まちなかワニ体操」)に出演し、センターでのイベントや協会の活動について周知をはかった。))

◆無料インターネット利用:78件(うち外国人3件)

◆メディア掲載歴

日時	掲載メディア	見出し/内 容
6月22日	読売新聞(朝刊)	wkmn ワカモノ ルーツからもう逃げない 疎外に悩む仲間支援 (若者支援事業コーディネーターのアメラジアン若者を取り上げた記事)
10月	豊中市広報 「広報とよなか」	ひゅうまん通信「『こんにちは』からはじまる誰もが住みやすいまちへ」 (「おやこでにほんご」ボランティアならびに参加者について)
11月29日	京都新聞	フィリピン出身元職員が提訴 低時給や未払い「差別的待遇」(相談事業で対応している相談者が大阪地裁に提訴した記事)
12月17日	読売新聞	毎日が異文化交流 (協会が小学校に派遣した講師を一部紹介)
1月14日	毎日新聞(夕刊)	特集ワイド 祖父はアメリカ人-28歳アメラジアンの旅 (若者支援事業コーディネーターのアメラジアン若者を取り上げた記事)

◆取材協力

・共同通信社 (フィリピン人の労働問題について) 6月13日、20日、27日、9月12日、11月14日に取材受入

◆冊子・報告書の発行

「おやこでにほんごのあゆみ 2002年～2014年」

(2)市民活動協働事業

◆市民活動共同デスク

2010年度、とよなか市民活動ネットきずなの呼びかけで、(社福)豊中市社会福祉協議会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、とよなか市民環境会議アジェンダ 21 との 5 団体で編集委員会をつくり、『2011 とよなか市民活動ガイドブック』を作成した。これを機に、豊中での市民活動がより活性化を図るために「市民活動共同デスク」を立ち上げ、ゆるやかなネットワークによる情報の交換と発信を試みた。

2014年度は、情報発信の手段として 7 団体(豊中市市民公益活動協議体らつぷが 2014 年度より参加)それぞれの活動報告を掲載した「壁新聞」(11～15 号)を発行した。今年度の壁新聞は、紙面上で様々な試みを行い、写真やマスコットキャラクターの活用や、各機関のイベントが一目でわかるような一覧、中間組織としての役割にかんする記事を掲載するなどの工夫を行った。また、一般財団法人とよなか男女共同参画推進センターすてつぷ主催のイベント「このまちで楽しくいきる～仕事人間じゃない、新しい自分～」へ共同デスクとして後援を行った。

会議実施日	内 容(場所)
4 月 15 日・4 月 25 日	7 団体打合せ(市民活動情報サロン)「壁新聞第 11 号」発行
5 月 22 日	6 団体打合せ(市民活動情報サロン)
6 月 17 日	6 団体打合せ(市民活動情報サロン)
7 月 17 日	6 団体打合せ(市民活動情報サロン)「壁新聞 12 号」発行
8 月 21 日	6 団体打合せ(市民活動情報サロン)
9 月 11 日	6 団体打合せ(市民活動情報サロン)「壁新聞 13 号」発行
11 月 14 日	6 団体打合せ(市民活動情報サロン)
12 月 19 日	5 団体打合せ(市民活動情報サロン)、「壁新聞第 14 号」発行
2015 年 1 月 29 日	6 団体打合せ(市民活動情報サロン)
2 月 20 日	6 団体打合せ(市民活動情報サロン)
3 月 20 日	7 団体打合せ(市民活動情報サロン)「壁新聞第 15 号」発行

さらに、市民主体の国際交流活動を推進するために、地域で活動する国際交流市民団体・グループの運営側面支援の取り組みを以下の通り行った。

日付	取り組みの内容
通 年	センターを拠点として活動するボランティアグループ「とよなか JSL」「日本語支援グループ・むすびめ」の運営支援、及び両者が実施する事業と連携して子どもの日本語と就労をめざす外国人のための日本語サポート事業を協働で推進した。
7 月～通年	NPO 法人国際交流の会とよなか(センター登録グループ)が実施する日本語学習プログラム運営委員会に事務局長が委員に参加し、助言を行った。
9 月～通年 (月 1 回)	「多様な支援をする人のための対話の会」をボランティア研修事業として開始した。大阪大学大学院臨床哲学研究科とカフェフィロの協力のもと、市民グループのスタッフ、ボランティアが活動の上で抱える問題、悩み等を語り合う場を設けた。
通 年	市民団体からの相談対応。協会ウェブサイト「国際交流の活動を充実させたい市民グループの皆様へ」のページを設置して周知をはかり、市民団体からの問合せに対して随時情報提供を行った。
6 月 29 日 3 月 22 日	とよなか国際交流センター登録グループとの第 1 回ヒアリング会を開催し 14 団体が参加した。市民団体の活動環境向上にむけて、意見交換を行い課題を共有した。

◆しょうない REK への協力

2005 年、豊中市の「市民公益活動推進条例」に基づき、市と市民が協働して庄内地域の環境・共生・活性化の課題に取り組む「しょうない REK」が立ち上げられた。(しょうない REK は R:Recycle リサイクル、E:Event イベント、K:かわら版を合わせた造語)。特に豊中市南部地域での連携を重点化するため、実行委員会に定期参加し、瓦版の執筆やイベントへの参加を行った。今年度は、庄内にて外国人親子を対象とした高校進学説明会を初めて開催することができた。

<実行委員会>

	実施日	内 容(場所)
1	4 月 17 日	顔合わせ、今年度の年間計画について(庄内図書館)
2	5 月 15 日	夏休み企画について、予算の確認(庄内図書館)
3	6 月 19 日	外国人親子にむけた高校進学説明会、夏休み企画について(庄内図書館)
4	7 月 24 日	高校進学説明会の振り返り、瓦版 16 号について(庄内図書館)
5	9 月 18 日	夏休み企画の振り返り、「哲学カフェオーケストラ in 庄内」について(庄内図書館)
6	10 月 16 日	しょうない REK10 周年記念行事、とよなか市民環境展について(庄内図書館)
7	11 月 20 日	哲学カフェオーケストラ in 庄内について、バザーの振り返り(庄内図書館)
8	3 月 12 日	「しょうない音楽祭」進行確認、次年度に向けて(庄内図書館)

<その他>

- ・外国人親子に向けた高校進学説明会@しょうない開催(庄内公民館) 7月12日
- ・「ええやん!しょうない瓦版」16号刊行・配付 10月29日
- ・「国際交流と人権を考えようパートII」古本バザーの参加(とよなか国際交流センター) 11月8日
- ・「しょうない音楽祭」の開催(サンパティオホール)3月14日

◆とよなか女性防災プロジェクト 2014

今年度、(一財)とよなか男女共同参画推進財団が、「とよなか女性防災プロジェクト 2014」(内閣府による「平成26年度地域防災における男女共同参画の推進事業」)として、「女性と防災を考える会」による「女性と防災に関する提言書」の作成、「とよなか女性防災ノート PART II」の作成、女性と防災を考えるシンポジウム、ワークショップ、映画上映を実施し、とよなか国際交流協会も、「女性と防災を考える会」委員会のメンバーとして参加した。

実施日	内容
11月10日	『とよなか女性防災プロジェクト』第2回検討委員会
11月27日	「女性視点で考える防災ワークショップ」
12月9日	「女性と防災を考える」委員会
12月13日	映画「うたごころ2012」上映会
1月15日	「女性と防災を考える」委員会
2月16日	「女性と防災を考える」委員会

◆市民団体との連携および運営支援

地域で活動する国際交流目的の市民団体の活動支援を随時実施した。

- ・国際交流センターの登録グループ(25団体)とのヒアリング会を2回開催し、ニーズの把握を行った。
- ・団体からの国際交流に関する相談窓口を設置し、随時相談に対応した他、団体の運営に対して必要に応じてサポートを実施した。市民団体の運営協力(「国際交流の会とよなか」日本語学習プログラム運営委員として定期的に参加)も行う他、市民団体との事業に共催・後援を行った。

◆その他

今年度は市民活動情報サロンと男女共同参画推進財団ととよなか国際交流協会の三者による豊中駅前活性化を推進するために、「こくりゅう・すてっぷ・サロンでジャンプ!」を企画運営しました。豊中駅前の広場を活用し、地域で活動する市民団体が集まり、活動紹介や発表会を催しました。

実施日	内容	参加者
4月15日	「市民のためのグローバル・アクティビティ」事業企画・計画会議	2人(職員2人)
8月28日	「こくりゅう・すてっぷ・サロンでジャンプ!」広げよう市民活動打合せ	2人(職員2人)
9月21日	「こくりゅう・すてっぷ・サロンでジャンプ!」広げよう市民活動	45人(うち職員5人、ボランティア8人)

(その他、7月26日 出張おまつり地球一周クラブ「インド!インド?インド!!」@市民活動協働サロン)

(3)留学生ホストファミリー事業

- ◆世話人会定例会(メンバー10人) 毎月第3木曜日 全12回実施
- ◆交流会実行委員会定例会(メンバー9人):毎月第2木曜日(ただし8月、12月、2月、3月除く)全8回実施
- ◆ホストファミリーボランティア数:登録家族104家族

<登録説明会>(単位:家族)

実施日	参加家族数	登録家族数	新規登録家族総合計
4月13日	19	12	27家族
6月15日	15	10	
3月8日	20	5	

◆留学生とのマッチング数(単位:組)

	春	秋	合計	総合計
大阪大学	20	43	63	96
JASSO	33	—	33	

◆交流会企画

(単位:人)

実施日	内容	参加者数	留学生数	参加者総数
4月19日	お茶の会①	8	5	13
4月29日	陶芸体験	22	12	34(13家族)
5月25日	万博で遊ぼう!民族学博物館見学	101	51	152(46家族)
9月20日	お茶の会②(国際交流と人権を考えよう Part I と合同)	16	6	22

10月5日	お茶の会③	10	5	15
10月26日	BBQ	62	26	88 (22 家族)
11月15日	お茶の会④	5	2	7
11月16日	ポットラックパーティ(すてっぶホール)	66	44	110 (29 家族)
2月22日	着物体験会	7	5	12
合計		297	156	453

◆関連機関との打ち合わせ、講演会等

(単位:人)

実施日	学校名	内容	参加者数
4月8日	大阪大学	春期対面式①	43
4月19日	大阪大学	春期対面式②	22
5月10日	JASSO	対面式	125
8月4日	大阪大学	OHP 連絡協議会	3
9月8日	大阪大学	日本語日本文化研修生修了式	2
9月17日	JASSO	スピーチコンテスト	2
9月19日	JASSO	打合せ	3
9月29日	大阪大学	秋期対面式①	79
10月7日	大阪大学	秋期対面式②	22
10月11日	大阪大学	秋期対面式③	59
12月19日	JASSO	国際交流フェス	8
2015年2月5日	大阪大学	国立大学法人留学生指導研究協議会	2
2月19日	大阪大学	留学生支援連絡協議会	3
2月25日	JASSO	来期についての打合せ	4
3月9日	大阪大学	OHP 連絡協議会	2
3月11日	大阪大学	学部留学生修了式	2
3月13日	JASSO	卒業式	4
合計			385

◆ニューズレターの発行(年3回)

<主な掲載内容>・特集(毎月号)／ホストファミリーと留学生の交流体験談／留学生コラム／いわせてあれこれ～交流に関するいろいろなお話～／活動報告

発行日	号数	特集内容	留学生コラム	いわせてあれこれ
7月3日	54号	世話人会って何をしているの？	ドミニカ共和国 ハンガリー	留学生に関わるトラブル
12月4日	55号	こんな時、どうしたらいい？ 交流中の気になる点	ベナン インドネシア	留学生とってよかったレストラン
2015年 3月5日	56号	ENJOY お花見！	サントメ・プリンシペ タジキスタン	交流中に困ったこと

◆協会イベント「国際交流と人権を考えよう」への参加(9月20日の「お茶の会」「バザー手伝い」)

2. おとな国際事業

(1)にほんご活動事業

①もっともつつかえるにほんご、とよなかにほんご木ひる、とよなかにほんご金あさ、にちようがちゃがちゃだん

日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティアによって自律的に運営され、外国人市民と日本人市民が出会い、日本語で交流をはかる場として週4日定着して開催した。

事業名	実施曜日	実施時間	参加者のべ人数(うち外国人)	のべ実施回数
もっともつつかえるにほんご	月曜	10:00～12:00	639人(226人)	41回
とよなかにほんご・木ひる	木曜	13:30～15:30	1,602人(762人)	47回
とよなかにほんご・金あさ	金曜	10:30～12:00	3,144人(1,352人)	47回
にちようがちゃがちゃだん	日曜	10:00～12:00	337人(210人)	33回
総合計			5,722人(2,550人)	168回

◆交流活動・学習会などの実施

事業名	実施日	内容	参加人数(うち外国人)
もっともつつかえるにほんご	5月26日	学習者を交えてのミーティング	13(2)
	7月14日	そうめん流し	15(6)
	12月22日	年末お楽しみパーティー	14(4)
	3月16日	お好み焼き作り&ランチミーティング	16(6)

	3月20日	花見(池田五月山公園)	16(6)
とよなかにほんご・木ひる	4月3日	お花見	21(2)
	7月31日	料理会	44(22)
	12月18日	ポットラックパーティー	33(15)
とよなかにほんご・金あさ	12月19日	お楽しみ会、バザー	67(20)
	1月16日	正月あそび	71(26)
	2月6日	弁当づくり	28(15)
にちようがちゃがちゃだん	3月29日	茶話会	11(8)
		総合計	349(132)

②おかまち・おやこでにほんご、しょうない・おやこでにほんご、せんり・おやこでにほんご

保育がない、子どもが慣れない、家から遠いなどの理由で、日本語教室に参加しにくい乳幼児連れの外国人の居場所を提供するため、岡町図書館、庄内図書館、千里図書館において、国際交流センター以外の公的な場で日本人親子のボランティアと外国人親子の交流を行った。乳幼児を抱え、家に引きこもりがちな外国人女性が安心して生活や子育てなどの情報交換ができ、悩みを相談できる場、リフレッシュできる場づくりを行った。

【おかまち・しょうない・せんり/おやこでにほんご】 参加者合計 1,174人(うち外国人 414人)

◆おかまち・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立岡町図書館3階、とよなか国際交流センターなど		
活動期間	2014年4月7日～2015年3月31日までの38回		
活動時間	毎週火曜日午前10:00～12:00、総活動時間(76時間)		
人数	ボランティア登録者数(8人)、のべ参加者数(309)人		
うち外国人おとな	42人	うち外国人子ども	33人
うちボランティア大人	175人	うちボランティア子ども	59人

●活動内容

実施日	内容	実施日	内容
4月7日	お花見	10月28日	物々交換
4月22日	かぶと作り	11月4日	ミカン狩り
5月13日	箕面ピクニック	11月11日	レース編み
5月27日	ベビーシャワー	12月2日	お楽しみ会@国際交流センター
6月10日	インドカレー作り(せんりおやこと合同)	12月16日	消しゴムハンコ作り
6月17日	物々交換	1月20日	お誕生日会
6月24日	虫よけスプレー作り	1月28日	バレンタインカード作り
7月8日	冷たいデザート(二色寒天)作り	2月3日	お料理会(恵方巻きと豆まき)
9月9日	月見団子作り	2月17日	クラフト(つまみ細工)
9月16日	お料理会(インドカレー)	3月3日	ひなまつり
9月30日	バスボム作り	3月10日	クラフト(羊毛フェルト)
10月14日	フォローアップ研修	3月17日	アイシングクッキー作り
10月21日	ジェルネイル	3月31日	お花見(バーベキュー)

その他、おしゃべり会12回

◆しょうない・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立庄内図書館3階研究室、公民館、公民館調理室など		
活動期間	2013年4月15日～2015年3月17日までの34回		
活動時間	毎週火曜日午前10:00～12:00、総活動時間数(70時間)		
人数	ボランティア登録者数(5人)、のべ参加者数(397)人		
うち外国人おとな	118人	うち外国人子ども	83人
うちボランティア大人	130人	うちボランティア子ども	66人

●活動内容

実施日	内容	実施日	内容
4月22日	紙ヒコーキ作り	11月18日	中国ママのお母さん送別会
5月13日	ラウンドテーブル、養成講座について	11月25日	バザー品整理
5月20日	今後の予定について	12月2日	お楽しみ会@国際交流センター
5月27日	TV大阪土曜スペシャル事前取材	12月9日	Tシャツ作り
6月10日	南インドカレー作り(せんりおやこと合同)	12月16日	持ち寄りパーティー
6月17日	おにぎり作り	1月20日	書初め、REKでお茶会

6月24日	ボランティアお別れ会	2月3日	節分豆まき
9月30日	ケーブルテレビ取材	2月17日	フリマ値付け
10月7日	Tシャツ作り	2月22日	キッズランド庄内でフリマ出店
10月14日	フォローアップ研修	2月24日	REK撮影
10月21日	Tシャツ作り	3月3日	ロッカー整理
10月28日	バザー値付け	3月10日	Tシャツ作り、絵本読み聞かせ
11月8日	バザー出店(国際交流と人権を考えよう)	3月17日	持ち寄りパーティー
11月11日	Tシャツ作り	その他 おしゃべり会 7回	

◆せんり・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立千里図書館集会室		
活動期間	2014年4月15日～2015年3月17日までの28回		
活動時間	毎週火曜日午前10時～12時、総活動時間数(56時間)		
人数	ボランティア登録者数(12人)、のべ参加者数(468人)		
うち外国人おとな	91人	うち外国人子ども	66人
うちボランティア大人	204人	うちボランティア子ども	107人

●活動内容

実施日	内容	実施日	内容
5月13日	空港へ行こう!	11月11日	耳つぼピアスと数秘術①
6月10日	インド料理クッキング①	12月2日	耳つぼピアスと数秘術②
6月17日	おしゃべり会と日本語レッスン	12月16日	忘年会
6月24日	アロマスプレーを作ろう	1月27日	日本料理クッキング
7月1日	七夕飾りを作ろう	2月17日	ママズフェスタ
7月8日	ミニバザー	3月3日	ひな祭り
7月15日	おたんじょうび会	3月10日	送別会①
9月30日	インド料理クッキング②	3月17日	送別会②
10月28日	イタリア料理クッキング	その他、おしゃべり会 11回	

◆フォローアップ研修

日程	2014年10月14日(火)午前10時～12時
場所	とよなか国際交流センター C.C.スペース
ファシリテーター	園崎寿子(エクパット・ジャパン・関西 共同代表)
テーマ	子どもの安全を守るための教育教材 SAFE プログラムを利用したワークショップ
参加者数	24人

◆豊中子ども読書推進連絡協議会ワーキンググループへの参加

グループ名	「障害のある子どもや外国人の子どものグループ」「小中学生グループ」
日程	6月24日(第1回)

◆報告書の作成

2002年度に文化庁「学校の余剰教室を活用した親子参加型の日本語教室の開設事業」の委託を受け始まった「おやこでにほんご」の活動が、開始から10余年経過したことを受け、まとめの報告書を作成した。(2015年度より配布)

◆職員研修の受け入れ

日程	2014年7月27日、7月28日(計2回)
内容	大阪府教職員初任者研修(箕面東高校&北千里高校)
参加人数	のべ10人
受入先	「にちようがちゃがちゃだん」「もっともっとなつかえるにほんご」

日程	2014年9月4日、9月12日(計2回)
内容	豊中市職員2年目研修
参加人数	のべ12人
受入先	「とよなかにほんご・木ひる」「とよなかにほんご・金あさ」

◆豊中市の教育行政・関係者との連携(識字・日本語豊中連絡会)：5月12日、9月12日、3月5日

◆その他

日程	内容	場所
6月12日	大阪府識字・日本語学習担当者連絡会議 豊能ブロック教室見学 箕面国際交流協会日本語教室「あかね」	箕面市立多文化交流センター
10月30日	識字・日本語豊中連絡会 社会見学 見学先「大阪大学総合学術博物館と旧新田小学校」	大阪大学 旧新田小学校
1月31日	識字・日本語豊能ブロック 交流会 発表：「若者のたまりば：素の自分でいられる、家でも学校・職場でもない場所」(若者のたまりば)	中央公民館
2月28日	第1回 識字・日本語学習研修会 発表：A分科会 リレートーク	大阪教育大学天王寺キャンパス
3月5日	指導者研修会 テーマ：「昔ばなし」に込められた世界 講師：佛教大学教職支援センター講師 元豊中市立小学校長 西田益久	教育センター 研修室1

3. 持続可能な地域づくり事業

(1)メディア・リテラシー市民ゼミナール

◆市民ゼミナール・メディア・リテラシー

日時	2015年3月14日(土)、15日(日)
場所	とよなか国際交流センター
参加者数	のべ13人(うち外国人4人)
テーマ	対話でつくる私たちのメディア
講師	田島知之(京都府立大学非常勤講師)
ワークショップ内容	・メディアリテラシーとは何か ・メディアのなかの「外国」・コミュニケーションを創り出す ・メディア制作 ・グループプレゼン&講評

●実施内容詳細

(1)参加者同士の「対話の文化」を作る。(2)参加者一人ひとりが持つ価値観や社会の見方がメディアを通してどのように形成されてきたかを知り、メディア社会を主体的に生きる視点を獲得する。(3)マイノリティ市民の視点で考える力を獲得することで「多様な人々が尊重される地域づくり」の促進を目指している。2014年度は、「対話」を講座の中心に据え、メディアが提示する「外国人」「グローバル化社会」を読み解き、発信することの意味を考える、おたがいい対話しながら共有・議論することを目的とした。そして、自分でメディア表現し、発信していくための映像作りにグループで取り組んだ。

(2)持続可能な開発のための教育(ESD)・防災・地域貢献

国連が提唱し2005年から始まった「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」を受け、2005年2月にキックオフをしたESD とよなかは、豊中市(関係5課)と市民活動中間支援団体(7社)が事務局会議を行いながら、緩やかにつながりながら10年間活動を行ってきた。今年度は、このESD10年の活動を「未来につなぐみんなのチャレンジ～豊中のESD10年のまとめ」として冊子を発行し、新たな10年に向けて再スタートを確認した。そして、この冊子を活用し、ESDセミナー①「食べて、学んで、体験できるチャンプル屋台村」では、ESDに関わる21団体が参加し様々な地域の取組んでいる人々が交流できた。またESDセミナー②「ESDカフェ」では、ワークショップの中で、ESD活動の大切さと深さを再確認でき、地域の人々と顔の見える形で出会い、連携を深めることができた。阪神淡路大震災20年を前にして、豊中消防署や危機管理室と連携し、防災訓練を行い、被災者のご夫婦を招いて当時の様子を教訓に、参加者は日頃からの防災意識の必要性を強く感じた。また、今年度も豊中市が実施する「美化啓発行事」(春・秋2回)に外国人市民が積極的に参加して清掃活動を行い、外国人が支援されるだけでなく、地域社会に貢献する姿もみることができた。その他、地域の外国人の課題にアプローチするためのコミュニティ通訳ボランティアを育成する講座を開催した。

◆2013年度 ESD とよなか連絡会議

実施日	参加者数	開催場所	構成団体&機関名
6月20日	10(1)	とよなか国際交流センター	NPO 法人 とよなか市民環境会議アジェンダ 21
8月29日	6(1)	とよなか国際交流センター	NPO 法人 とよなか市民活動ネットワーク
10月3日	12(2)	とよなか国際交流センター	赤ちゃんからの ESD
10月31日	6(1)	とよなか国際交流センター	一般財団法人 とよなか人権文化まちづくり協会
11月14日	6(1)	すてっぷ	一般財団法人 とよなか男女共同参画推進財団
12月19日	12(2)	環境センター	公益財団法人 とよなか国際交流協会
1月29日	12(2)	とよなか国際交流センター	社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会
2月19日	10(2)	とよなか国際交流センター	豊中市(環境政策室、人権政策室、千里地域連携センター、人権教育室、地域教育振興室)
合計	74		

◆防災訓練、セミナー等

地域連携の一環として、今年度も豊中市(環境部)が実施する美化啓発行事な監督などに積極的に職員や外国人ボランティアが参加した。また、セミナーを開催して ESD に関する啓発をはかった。

実施日	内容	場所	参加者数 (外国人)
6月26日	クリーン作戦①「駅前周辺清掃活動」 (豊中市美化啓発行事への参加)	阪急豊中駅前付近	5(2)
7月25日	防災訓練 共催:大阪府国際交流財団(OFIX) 協力:豊中市上下水道局、北消防署	とよなか国際交流センター	87(47)
10月17日	千里コラボまつり見学	千里地域連携センター	2(2)
11月13日	クリーン作戦②「駅前周辺清掃活動」	阪急豊中駅前付近	2(1)
11月22・23日	とよなか市民環境展を見学	豊島体育館	10(2)
3月15日	ESD セミナー①「チャンプル屋台村」	すてっぷホール	153(28)
3月19日	ESD セミナー②「ESD カフェ」	国際交流センター	26(5)

●外国人の防災意識を高める取り組み:救急通報や消火器訓練のほか、防災ずきんの作り方、心肺蘇生法などの救急処置について実践的に学んだ。

◆その他 国際理解教育などの講師の派遣など <のべ 39 件、82 人を派遣>

	実施日	派遣先、内容	講師	人数
1	毎月1日	庄内神社幼稚園(国際理解)	タイ	1
2	6月2、9日	灘高等学校(イスラームについて)	インドネシア、職員	2
3	6月12日	世界人権宣言豊中連絡会議【多文化共生と人権】	職員	1
4	6月13日	豊中市立第11中学校(国際理解)	スリランカ、フィリピン・日本(2)、インド、ベトナム(2)、メキシコ、韓国、中国	9
5	6月15日	豊中市立池田小学校(タイ児童への通訳)	職員	1
6	6月24日	豊中市人権推進主任研修(協会の取り組みについて)	職員	2
7	7月2日	市教研 生活科@野田小学校(協会事業について)	職員	1
8	7月2日	市教研 帰国児童生徒@上野小学校(タイについて)	タイ	1
9	7月3日~	大阪府立豊中支援学校(中等部・高等部)(英語学習)	インド	1
10	7月3、9日	阪大院内学級 刀根山分教室①(英語学習・国際理解)	フィリピン	1
11	7月26日	十三中 PTA 主催講座(国際理解)	ブラジル、フィリピン・インドネシア、スリランカ、韓国・朝鮮	5
12	7月30日	島本町外教主催島本町夏季セミナー(韓国朝鮮の遊び)	職員(韓国朝鮮)	1
13	8月18日	『多文化共生』を考える研修会 2014 @神戸外国人定住支援センター(フィリピンの子どもへのサポートについて)	フィリピン	1
14	8月19日	豊中市教員2年目研修(協会事業について)	職員	1
15	8月29日	文化庁日本語教育大会@昭和女子大学(若者支援について)	アメリカ	2
16	9月1日	二ノ切温水プール(英語通訳サポート)	スリランカ	1
17	10月8日	能勢町立人権教育研究会 多文化共生教育専門部会	職員	1
18	10年25日	文化庁日本語教育大会@梅田センタービル(若者支援について)	アメリカ	2

19	11月6日	兵庫県立星稜高等学校 (外国にルーツをもつこどもの支援について)	職員	1
20	11月6日	豊中市立野田保育所保育アドバイザー研修 (多文化共生について)	職員(韓国・朝鮮)	1
21	11月13日	大阪府立豊中高校(国際理解)	スリランカ、ブラジル、インドネシア(2)、 韓国、ペルー、中国	9
22	11月20日	桜井谷小学校(世界の遊び)	インドネシア、韓国、中国、タイ	4
23	11月26日	大阪市立高殿小学校(国際理解)	インドネシア、ルーマニア	2
24	11月30日	国際交流の会とよなか(多文化共生について)	職員(韓国・朝鮮)	1
25	12月22日	豊中市立寺内小学校(国際理解)	スリランカ	1
26	1月20日	豊中市立克明小学校(フィリピンについて学ぶ)	フィリピン	1
27	1月23日	茨木市立豊川中学校(国際理解)	インドネシア、韓国、フィリピン、ブラジル、 中国	5
28	1月27日	大阪府立外国人教育研究協議会(フィリピンについて)	フィリピン	1
29	2月3日	豊中市立第四中学校(国際理解)	中国(2)、ペルー、タイ、フィリピン	5
30	2月5日	豊中市H26年度第2回人権研修(多文化共生について)	職員	1
31	2月6日	豊中市立第二中学校(国際理解)	フランス、スリランカ、メキシコ、インドネシ ア	4
32	2月17日	豊中市立蛭川小学校(イスラームについて)	インドネシア	1
33	2月18、19日	阪大院内学級 刀根山分教室②(英語学習・国際理解)	韓国	1
34	2月20日	大阪市立南小学校(国際理解 公開研究授業)	フィリピン、ブラジル、ウクライナ、タイ	4
35	2月20日	箕面市立第四中学校→箕面市国流(国際理解)	ドイツ	1
36	2月28日	第1回識字・日本語研究集会(日本語活動について)	スリランカ	1
37	3月4日	能勢町立岐尼小学校(フィリピン人親子のサポート)	フィリピン、職員	2
38	3月6日	豊中市立野田小学校(中国の文化理解)	中国	1
39	3月5日・7日	大阪府立桜塚高等学校(韓国語学習)	韓国	1
合計				82

◆その他 地域の外国人コミュニティ通訳ボランティア養成講座の実施

コミュニティ通訳ボランティアを養成することで、地域で困難な状況にいる外国人に国際交流協会の存在をしらせ、センターでの相談を始め諸事業につながりかけをつくることで、外国人が公共サービスにアクセスしやすく、安心して暮らせる地域づくりを目指した。

実施日	内容	講師	参加者数(外国人)
1月16日(金) 13:00~15:00	外国人の現状と課題、とよなか国際交流協会の紹介	山本愛(とよなか国際交 流協会職員)	24(7)
1月23日(金) 13:00~15:00	通訳者に必要なスキルと心構え	園崎寿子 (英語・タガログ語通訳 者、神戸女学院大学非 常勤講師、協会評議員)	22(7)
1月30日(金) 13:00~15:00	模擬通訳体験	同上	23(10)
合計			69(24)

通訳ボランティア登録人数:9人(英語、中国語、フランス語、インドネシア語)

4. 持続可能な人づくり事業

(1) ボランティア研修事業

◆2014年日本語ボランティア養成講座

	実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第1回	9月25日	エンパワメントにつながる支援とは？ ～ジェンダーの視点から考える	三輪敦子(公財 世界人権問題研究センター研究員)	43 (2)
第2回	10月2日	女性ホームレスの視点から日本社会を考える 【公開講座】	いちむらみさこ(ホームレス)	75 (10)
第3回	10月9日	はじめよう日本語ボランティア ふりかえり、活動紹介、協会紹介	山根絵美(協会職員)、 日本語交流活動ボランティア	46 (4)
合計				164(16)

◆多文化子育て支援ボランティア養成講座

日本に暮らす外国人の定住化と国際結婚が増え続ける中、かれらの抱える課題を、同じく子育てをしている日本人に知ってもらい、すべての人が安心して子育てができるためには地域で何ができるかを考えるための講座を行った。講座終了後、各活動の見学を経て、豊中市親子参加型日本語教室「おかまち・おやおでにほんご」、「しょうない・おやこでにほんご」、「多文化保育にこにこ」のボランティアとして活動し始めた。また、他事業の協会ボランティアも参加して研修の場とした。

<時間はいずれも10時～12時>

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第1回 5月29日	違う環境で子どもを育てる外国人のお母さん	松原マリナ (NPO 関西ブラジル人コミュニティCBK)	26(1)
第2回 6月5日	お互いのチカラを引きだし合うコミュニケーション ～支援者の役割を考える～	植木美恵子(とよなか国際交流協会 就労相談コーディネーター)	20(2)
第3回 6月13日	とよなか国際交流協会の取り組みと “おやこでにほんご”活動紹介	山根絵美(とよなか国際交流協会職員) おかまち・おやおでにほんごのボランティア	21(3)
合計			67(6)

◆哲学カフェ in とよなか国際交流センター

市民感覚で、提案されたテーマについて参加者みんなで問うたり、意見を出し合うスペースづくりを、フランス発祥の「哲学カフェ」を実践しているカフェ・フィロや大阪大学コミュニケーションデザインセンター教員、大学院生・大学生と共に創出した。隔月で開催する哲学カフェも6年目を迎え、幅広い市民層を迎え入れながら定着してきた。2014年度は、昨年度に引き続き、ミーティングでカフェ・フィロ、協会職員が一緒に話し合いテーマを決定した。また、チラシも進行役本人に作成してもらった。

	実施日	テーマ	進行役	参加者数 (うち外国人)
第1回	5月17日	自分の見た目はだれのもの？	金和永(大阪大学大学院)	27(4)
第2回	7月19日	あなたのふるさとって何？	安谷屋剛夫(大阪大学大学院)	22(4)
第3回	9月13日	私の人生は誰のもの？	秋田光軌(浄土宗應典院)	28(5)
第4回	11月15日	脱毛したい？	川崎唯史(大阪大学大学院)	10(2)
第5回	1月17日	「住む」ってどういうこと？	高原耕平(大阪大学大学院)	13(2)
第6回	3月21日	「近く」でしていることは何ですか？	鈴木徑一郎(大阪大学大学院)	26(2)
合計				126(19)

◆多様な支援をする人のための対話の会

教員や市民団体で活動するスタッフ・ボランティアなど支援者向けの対話の会を、カフェフィロの協力をうけて開催した。対人支援にかかわる悩みや考えを安心して発言できる空間で共有し、解決をはかる場とした。

<進行役は高橋綾さん(カフェフィロ)>

	実施日	参加者数(人)(うち外国人)
第1回	4月19日	6(2)
第2回	5月31日	7(2)
第3回	6月29日	6(2)
第4回	8月10日	8(3)

第5回	9月7日	5(2)
第6回	10月26日	5(2)
第7回	11月30日	4(1)
第8回	1月18日	4(3)
第9回	2月1日	7(3)
第10回	3月1日	4(2)
		56(22)

◆インターン受入れ

大学名	受入れ者氏名	内容
大阪大学大学院 人間科学研究科	藤澤優	おまつり地球一周クラブの企画・運営、外国語体験活動のコーディネーター等を中心に関わる
甲南女子大学	鎌田莉那	おまつり地球一周クラブの企画・運営、外国語体験活動のコーディネーター等を中心に関わる
甲南女子大学	藤原リサ	おまつり地球一周クラブの企画・運営、外国語体験活動のコーディネーター等を中心に関わる

◆その他学生受け入れ

大阪大学グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL)のグローバルコラボレーション科目(グローバル共生社会演習)の一環として、以下2人の学生を受け入れた。

大阪大学外国語学部	三好大	「ミニせんなり」の企画・運営を中心に関わる
大阪大学文学研究科	ジャルパー・ラジャニオン	「世界を食べよう」のサポートを中心に関わる

◆‘UNLEARN’「あたりまえ」に対抗するひとづくりばづくり実践者セミナー

2008年から始められた「学びほぐし」シリーズを、特に3.11以降の自分たちの在り方を考え直すために、2011年に再開し今年度も引き続き実施した。これまで身に付けてきた既存の価値観や概念をいったんほぐして、そこから見えてくる社会や暮らしのあり方について講師と共に考える機会を持った。

第1回 10月18日 14:00~17:00	テーマ	ある小児科医が診た『児童虐待』
	講師	松岡太郎(豊中市保健所長)
	参加者数	52人(うち外国人 11人)

◆市民セミナー

今年度より地域で人権課題に取り組む人を招き、国際のみならず幅広いテーマで学びを深め、多文化共生社会をつくる人づくりを目的とした市民向けセミナーを開催した。日中は仕事等でセンターの行事に参加できない層の参加も多く、利用者の幅が広がった。

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第1回 5/16 18:30~20:30	「今まで語れなかった家族とハンセン病」	黄光男	38(5)
第2回 7/18 18:30~20:30	「誰もが自分らしく暮らせるユニバーサルデザインとは？」	芳村幸司 (ユニバーサルデザイン推進協会)	37(5)
第3回 9/20 14:00~16:00	「ガザ 繰り返されるジェノサイド」	岡真理 (京都大学大学院教授)	85(12)
第4回 12/5 18:30~20:30	「世界のさまざまな音楽とヒューマンライツ」	松本城州夫&アンサンブルサビーナ (イタリア生活文化交流協会)	91(11)
第5回 1/23 18:30~20:30	「地域に暮らす当事者の思いとその支援」	松岡洋二、足立望、当事者の方2人 (みとい福祉会)	21(4)
合 計			272(37)

◆ボランティア説明会

協会実施事業の紹介およびボランティアになるための方法(養成講座の案内等)について情報提供した。

実施日	内容	参加者数
5月18日(日)10:00~12:00	外国人のおかれている状況および協会事業説明/各事業紹介	50(3)

◆子ども・若者事業ボランティア オリエンテーション

実施日	内容	参加者数
5月25日(日)15:00~16:00	子ども・若者事業に関する事業の詳細説明/ボランティアによる活動紹介	4(1)
6月1日(日)15:00~16:00	子ども・若者事業に関する事業の詳細説明/ボランティアによる活動紹介	3(1)

◆全国ボランティアコーディネーター研究集会(JVCC)2015 大阪

全国各地で取り組まれているボランティア活動の現場で抱える課題を起点に、市民の自発的な参加で組織や施設を活性化し、自由で温もりのある社会を創造する。そんなボランティアコーディネーションをすすめるための「気づき」と「出会い」と「元気回復」の場にしよう関西の多様な分野からの実行委員 55 人が集まり、6 か月間にわたる企画を練り、「福祉・災害・医療・企業・人材育成・若者・多文化等々」の講師や事例発表者の報告を通して、全国の方々との実践交流と情報交換を行いました。

この研究集会の分科会(B-1:支援「する側」「される側」を超えるコーディネーション～生きづらさに寄り添い「居場所」と「役割」を創りだすカギ～)を 400 人を超えるボランティアと共に活動する協会職員として担当し、企画・運営・進行・まとめを担うことで、貴重な実践と素晴らしい人たちと出会い繋がることができました。

《JVCC 実行委員会・分科会打合せの日程》

実施日	実行委員会の内容	場所	参加
7月21日	オリエンテーション・第3回実行委員会(全体企画)	龍谷大学梅田キャンパス	2
8月10日	第4回実行委員会(全体企画・分科会内容検討)	CANVAS 谷町(大阪ボラ協)	1
9月23日	第5回実行委員会(全体企画・分科会企画)	CANVAS 谷町(大阪ボラ協)	1
11月15日	第7回実行委員会(全体企画・分科会企画)	龍谷大学梅田キャンパス	1
12月14日	第8回実行委員会(発送作業・会場下見・企画会)	ドーンセンター	1
2015年1月10日	第9回実行委員会(全体企画と運営・役割分担)	龍谷大学梅田キャンパス	1
2月7日	第10回実行委員会(最終打ち合わせと確認)	龍谷大学梅田キャンパス	1
2月28日	会場準備・オープニング全体会・分科会A(夜:交流会)	ドーンセンター	2
3月1日	分科会B・クロージング・会場片づけ	ドーンセンター	2

【分科会担当者の打合せ参加】・2014年10月6日、2015年1月6日、1月20日、2月23日

5. 子ども国際事業

(1)おまつり地球一周クラブ

地域に暮らす外国人を中心に日本人も含め、ともに国際理解講座や遊びを通じて国際感覚を持った子どもたちを育成し、豊かな地域社会を構築することを目的として実施した。インターンシップの大学生やボランティアが外国人講師と共に企画段階から準備を進めた。また、外国人講師の力を発揮する機会にもなった。2014年度は地域とのつながりを一つのテーマに、地域で活動する“昆虫博士”や、協会ともつながりのある福祉作業施設との連携で夏休み特別企画を実施したり、「おしらせ」表紙を担当する大阪府立池田高校美術部の生徒によるアートワークショップを開催したりするなど、地域に暮らすさまざまな人に関わってもらえたため、国や地域を限定することなく多様なテーマを提供することができた。

	実施日	テーマ	参加者数(人)		
				子ども	外国人
第1回	5月25日	コリアタウンに行こう!	13	6	7
第2回	6月22日	ようこそ!ブラジル	19	10	9
第3回	7月6日	ナマステ!インド	24	12	6
第4回	7月26日	出張おまつり地球一周クラブ@豊中市民活動協働サロン(インド!インド?インド!!)	15	3	4
第5回	8月7日	昆虫の世界をのぞいてみよう	17	8	3
第6回	8月19日	アロマキャンドルを作ってみよう	38	25	1
第7回	9月27日	エクアドルを知ろう!	22	6	5
第8回	10月19日	Jambo! Kenya!! (大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラムとのコラボ)	28	7	2
第9回	10月25日	おまつり地球一周クラブ in 庄内(おでかけ国流)	30	10	5
第10回	12月29日	フィリピンのクリスマス	10	6	5
第11回	1月20日	イスラームを学ぼう	9	2	1
第12回	2月24日	アートを楽しまう(大阪府立池田高校美術部とのコラボ)	7	3	0
総合計			232	98	48

(2)チャオチャオハンデル講座

ハンデル学習を通して一番近い国の文化を体験・学習するプログラムは「うきうきハンデル」として地域に住む子どもたちに長年親しまれてきた。この数年は韓国出身の講師やボランティアの都合が合わず開催していなかったが、2013年度からおまつり地球一周クラブの中で、「チャオチャオ(好き好き)ハンデル」としてリニューアル開催している。今年度は6月～2月の毎月第4土曜に実施し、計9回開催した。〈指導者:シムスヨン、キルドンソク〉

	実施日	テーマ	参加者数(人)		
			子ども	外国人	
第1回	6月28日	自己紹介、韓国の紹介、名札づくり、民族衣装を着てみよう	22	10	8
第2回	7月26日	お面の紹介、タル(面)をつくらう、歌	20	9	5
第3回	8月2日	タル(面)をつくらう、ユンリ、歌	16	5	3
第4回	8月23日	料理を作ろう①ビビンバ	22	9	9
第5回	9月27日	歌って遊ぼう、楽器体験	13	7	5
第6回	10月25日	南北코리아絵画展作品づくり、	15	5	3
第7回	11月8日	韓国の遊び、ユンリ大会(国際交流と人権を考えよう Part II の中で)	16	9	7
第8回	2015年1月24日	料理を作ろう②トック、	28	14	6
第9回	2月21日	記念カードづくり、折り紙、ユンリ	16	9	1
総合計			168	77	47

(3)韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

韓国・朝鮮につながりのある子どもたちが、毎月第3土曜日に集まり、民族講師(ソンセンニム)から、民族の文化や遊びを学び通して、自尊感情を培うとともに、友だち(チング)とのつながりを深める場を設けた。市内小中学校の先生方が主体の「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」実行委員会が中心となり、「つどい」の運営を進めている。〈民族講師(ソンセンニム):金生遵、柳敬修、姜正美〉

	日程	内容	参加者数(うち外国人)	先生(うち外国人 ※ソンセンニム含む)
—	4月19日	実行委員ミーティング	—	9(4)
第1回	5月17日	開講式・イルム(名前)の練習・自己紹介	6(6)	12(5)
第2回	6月28日	数字・ウリマル(韓国朝鮮語)・ウリマルで計算しよう	8(8)	15(7)
第3回	9月20日	チュソク(秋夕・おぼん)について・ルーツについて	9(9)	19(8)
第4回	10月18日	タルチュム(仮面劇)を知ろう・タル(仮面)づくり	10(10)	10(3)
第5回	11月15日	タルチュムリ練習・発表	9(9)	12(3)
第6回	12月20日	ソルラル(お正月)について	11(11)	13(3)
第7回	1月17日	料理をつくらう(ポッキづくり)	8(8)	13(4)
第8回	2月21日	1年をふりかえって(文集づくり)	7(7)	8(1)
第9回	3月21日	修了式	15(15)	17(4)
合計			83(83)	128(42)
総合計			211(125)	

◆ハギハッキョ(夏期学校)

			子ども	先生(うちソンセンニム)
7月28・29日	小学生のハギハッキョ	豊中市立南桜塚小学校	23	64(4)
8月7日・8月8日	ハギハッキョ・キャンプ	豊中市青少年自然の家わっぱる	8	18(4)
総合計			31	82(8)

Ⅱ. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業

1. おとなサポート事業

(1) 相談サービス

生活相談・外国人女性専用電話相談		相談件数計(臨時通訳・行政書士相談含): 948 件
毎週金曜日	11:00~16:00	
相談員	吉嶋かおり(臨床心理士)	
就労相談コーディネーター	岩田ユミ(~4月)/植木美恵子(5月~)	
多言語スタッフ	中国語	賈晨
	韓国・朝鮮語	朴貞淑
	フィリピン語・英語	平松マリア
	タイ語	ラビーパン・カンブンスュー(~7月)/シリジャン・ウィリヤーボン(8月~9月)/ラッタナセリーウォン・センティアン(10月~)
	ポルトガル語	中原田ブルーナ
	スペイン語	滝本クラウディア
	インドネシア語	カスイ・プリスカ・サフィトリ
	ベトナム語(10月~)	グエン・ティ・ジェム・ニュン
行政書士相談(随時実施)		協力:行政書士入管手続研究会 件数:8件
臨時通訳		件数:20件

◆相談件数

2014年度の相談件数は920件(行政書士相談、臨時通訳を含むと948件)、前年度が479件だったため、前年度比92%増、約2倍の相談件数であった。増加の背景として、ベトナム語対応の導入(ベトナム国籍者71件)、同一事業所に勤務する複数従業員の労働問題及びそこから波及する生活や手続き上の相談の集中、DV被害者の自立等支援が挙げられる。

相談者の居住地は、例年通り豊中市が最も多く、40.7%だった。センター事業の「利用者」からの相談は、例年通り豊中市民が約70%を占めた。大阪府下全域では77.42%、他に、近畿の他府県だけでなく、電話で全国から寄せられている。

国籍は例年通りフィリピンが最も多く47.0%。フィリピン語での相談が大阪ではほとんどないため、当方に集中していることに加え、長年実施してきたことで、ロコミで知られるようになってきていることが伺える。次いで年度途中から導入したベトナム7.7%、さらに、中国、韓国がそれぞれ約5%となっている。国籍は30カ国に及んだ。日本と外国の二重国籍者が18件(未成年)、日本国籍だがルーツが日本以外の人28件(日本国籍のうちの36.8%)だった。日本国籍で使用言語が日本語以外の相談は23件、外国籍だが日本語で相談を行ったのは312件で、そのうち相談対応言語以外の言語を公用語(母語)とするものは10件、5カ国語だった。日本語で対応した相談は、日本語での会話が可能で、プライバシーを守りたいために、あえて日本人スタッフへの対応を求めたものと、関係機関との連携によるものが多かった。

在留資格は定住者27.5%、配偶者23.7%、永住者が9.0%だった。2014年度は、少ないながらも「研修/技能実習」の在留資格で滞在する人からの相談があり(12件)、技能実習制度の問題が寄せられた。

職業では介護職が21.8%、パート・アルバイトが15.0%、無職が13.7%だった。無職は生活保護受給者が多く、就労者はほぼ非正規労働者である。

<相談内容と件数>(1件の相談で複数の相談テーマがあるため、相談件数より母数は大きい)

大項目	件数	割合(%)	昨年度件数(増%)	小項目 <カッコ内は全件に占める割合(%)>
夫婦関係	185	16.0	143(129)	DV(5.0)、離婚(5.6)、親権・養育費(2.6)、不和・不満(2.0)、国際結婚(0.4)、その他(0.3)
手続き	145	12.6	69(210)	在留資格など(7.9)、家族呼び寄せ(1.1)、養子(0.1)、その他(3.5)
生活	328	28.4	146(224)	日常生活(5.5)、行政手続き(9.0)、住居(3.3)、日本語学習(4.7)、金銭問題(2.9)、交通事故(0.2)、その他(2.8)

保健	54	4.7	32 (168)	メンタルヘルス(0.3)、医療(3.2)、母子保健(0.8)、その他(0.3)
人間関係	43	3.7	20 (215)	家庭(1.0)、友人(1.6)、地域(0.7)、職場(0.0)、その他(0.4)
労働	261	22.6	111 (215)	求職(10.0)、就労定着上の問題(2.1)、失業・退職(1.0)、労災(1.6)、給料未払(4.8)、その他(2.9)
子ども	100	8.6	65 (153)	子育て(2.0)、学校(4.4)、保育所・幼稚園(1.1)、その他(1.1)
その他	39	3.4	21 (185)	人権侵害(0.6)、その他(2.8)

◆機関連携

他機関からの問い合わせ、他機関で受けた相談者への支援依頼など、他機関との連携による相談は140件(15.2%)だった。機関連携で多いのは、DV被害者への対応、経済的困窮者(生活保護受給者含む)の家庭や生活上等の問題、就労支援、労働問題、子どもの学校生活における問題、法的対応にかかる弁護士との連携等であった。

豊中市	人権政策室、保健センター、子ども家庭相談室、幼稚園、小・中学校、福祉事務所、雇用労働課、市民相談課
豊中市以外の自治体・学校	他市DV担当、府・他市教育委員会、他市子ども家庭相談室、他市福祉事務所、公立高校、
公的支援機関	労働局、子ども家庭センター、年金事務所、府・市社会福祉協議会、母子福祉支援施設
その他支援機関	AMDA、チャーム他支援団体、人権擁護団体
その他	弁護士、病院、協会事業ボランティア、メディア

◆スタッフ研修(内部・外部)

相談事業スタッフの研修を行い、相談員としての基本的な知識・スキルを学び資質向上をはかった。

実施日	テーマ 講師	参加者数(人)
6月21日、28日 7月6日	【外部研修】「通訳者・相談員スキルアップ研修」 すべての外国人とその家族の人権を守る関西ネットワーク:RINK 主催	5(4)
6月2日・3日	【外部研修】通訳者/相談員研修会 OFIX 主催	5(4)
5月30日	ケース勉強会 講師:ファシリテーター:吉嶋かおり(協会相談員)	11(8)
6月27日	豊中市社会福祉協議会の事業について 講師:勝部麗子(豊中市社会福祉協議会)	7(6)
10月9日	【外部研修】RINK 総会(DV被害者への支援について) 講師:RINK、雪田樹理弁護士	1(0)
2015年 1月16日	性暴力について 講師:田口奈緒(医師/性暴力被害者支援センターひょうご)	12(8)
1月22日	【外部研修】DV被害者の地域支援者養成講座 大阪府主催	2(1)
1月29日	【外部研修】相談員・通訳者スキルアップ研修 OFIX 主催(講師:いのちの電話職員他)	3(3)
	合計	46(34)

◆外国人のための多言語セミナー

相談事業によせられる相談から課題を抽出してセミナー化し、広く情報提供をはかった。すべての講座に通訳と保育をつけて、外国人女性が参加しやすい環境を整えた。

実施日	テーマ 講師	参加者数 (人)
6月20日	韓国人コミュニティ交流会 ファシリテーター: 朴貞淑(協会韓国語多言語スタッフ)	13(13)
9月19日	幼稚園ってどんなところ? 講師: 豊中市立しんでん幼稚園園長 寺本幸子	25(15)
9月26日	ブラジル人交流会 ファシリテーター: 中原田ブルーナ(協会ポルトガル語多言語スタッフ)	26(23)
10月25日	外国人のための一日情報&相談サービス in 庄内 相談員: 越尾邦宏(弁護士)、橋本義範(おおさか子ども多文化センター)、湯川理巳(小児科医)、行政書士入管手続き研究会より行政書士5人、協会相談員2人、OFIX相談員1人	50(40)
12月12日	ストレスのセルフマネジメント～Emotion Freedom Technique(EFT)を体験しよう!～ 講師: 中萩エルザ(ブラジル人医師)	41(30)
2015年 2月6日・20日	外国人のための確定申告相談会 協力: 和田会計事務所	19(10)
2月14日	中国春節交流会 ファシリテーター: 賈晨(協会中国語多言語スタッフ)	52(48)
2月27日	外国人のための健康セミナー「発達障害って何?」&無料健康相談会 講師: 松岡太郎(豊中市保健所所長) 共催: NPO 法人チャーム、協力: 豊中市保健センター	27(22)
合計		253(201)

◆地域連携

実施日	内容
5月29日	豊中市 保健師会への参加・情報提供(中部保健センター)
6月13日	ケースカンファレンス(地域就労支援センター)
6月23日・9月26日・ 10月10日	DV防止ネットワーク会議 ケース検討会議
6月25日	虐待防止ネットワーク会議
8月8日	人権相談機関ネットワーク会議
11月27日	大阪府外国人向け行政情報提供窓口相談員ネットワーク会議 (「研修生・技能実習生のことを知ろう」)
11月28日完成	社会福祉協議会の多言語パンフレットの翻訳作業と取材協力
12月5日・12月9日・ 12月11日 2015年2月10日	民生委員・児童委員協議会の役員会での情報提供(第1民児協～ 第4民児協)
2015年2月19日	OFIXでの1日相談会実施団体によるふりかえり会議
2015年3月2日	人権相談機関ネットワーク会議

◆シンポジウム「勝手に離婚されるだけじゃない! 無法地帯の協議離婚を考える」の開催

協議離婚制度の簡便さから、日本人配偶者である夫から、勝手に離婚届を出されるという相談ケースをふまえ、国際結婚の事例をもとに、協議離婚制度の問題について提起し、議論を深めた。

準備会合	実施日	テーマ	内容	参加者数
第1回	6月17日	外国人支援機関におけるケースの共有と検討会議	各団体の「勝手に離婚された」ケースの発表	9人 (いくの学園、チャーム、RINK、京都YWCA/APT、神戸外国人救援ネット、当協会)
準備会合 第2回	8月26日	外国人支援機関における当該ケースの共有と検討会議	問題点の整理、シンポジウムの内容に関する打合せ	7人(いくの学園、RINK、京都YWCA・APT、神戸外国人救援ネット、当協会)
本番	2015年 2月22日	シンポジウム「勝手に離婚されるだけじゃない! 無法地帯の協議離婚を考える」	事例発表(とよなか国際交流協会とRINK)、講義(大阪市立大学教授 森山浩江/同志社大学教授 二宮周平) および終了後に交流会。後援に大阪弁護士会、日本家族<社会と法>学会	82人(12人)
合計				98人(うち外国人12人)

◆「日本語支援グループ・むすびめ」との協働事業

2009年度～2010年度文化庁委嘱事業「多文化共生社会の基盤をつくるための“むすびめ”を生み出す日本語コーディネーター研修(むすびめ事業)」で研修を受けたボランティアが中心となり、2011年度に「日本語支援グループ・むすびめ」が結成され、月曜日のにほんご活動事業「もっともつつかえるにほんご」の運営および、外国人への具体的な仕事や資格につながる支援事業(主に日本語を切り口とした)を協会と共催した。

<日本語能力検定試験パーソナルサポート>

参加者数	199人(うち外国人122人)	
サポートのべ回数	86回	
サポートのべ時間数	226時間	
内容	日本語検定試験のためのボランティアによる個別指導	
実施日 (同日に複数回実施もあり)	4月	8,15,22,29
	5月	6,13,20,27
	6月	3,10,17,24
	7月	1
	9月	2,9,16,30
	10月	3,7,14,21,28
	11月	4,11,18,21,25
	12月	2,5

就労のための資格取得サポートの一環として、日本語能力検定試験にむけた個別サポートを実施した。今年度は基本的に毎週火曜日の開催とし、試験日の3ヶ月前からの実施をおこなった。

<その他(就労定着支援日本語サポート)>

参加者数	24人(うち外国人12人)	
サポートのべ回数	12回	
サポートのべ時間数	24時間	
内容	就労定着のための日本語個別指導	
実施日	6月	13,20,24,30
	7月	7,11,14,18,25
	8月	1,4,8

<協会/むすびめ連絡会>

「日本語支援グループ・むすびめ」と協会が実施する共催事業や資格・就労のための日本語学習の打ち合わせなど、情報共有を定期的実施した。

参加者数	のべ45人(うち外国人6人)
実施日	5月26日、9月22日、10月27日、12月22日、2月16日、3月23日

◆DV啓発コーナーの設置

センター内にDV相談を周知するために情報コーナーを設置し、多言語(9言語)のポスターを配置した。

◆中間的就労、社会参加の機会提供としての料理教室の試行

外国人相談者の中間的就労と社会参加の機会提供の一環として、料理教室を「世界を食べよう！」と題して開催した。料理を担当する外国人当事者は、レシピの作成や予算内での材料の準備、また、参加者に日本語で料理や自国文化を説明しながら交流することで、自信を得ることができた。参加者の中には外国人もおり、日本人だけでなく、外国人同士の出会い・交流の場にもなった。

	日程	内 容	参加者数 (うち外国人)
第1回	11月27日	ペルー編①(ロモ・サルタード:牛肉と野菜の炒めもの)	12(2)
第2回	12月18日	ペルー編②(ポヨ・アル・オルノ:ペルー風ローストチキン)	21(2)
第3回	1月22日	ペルー編③(パパ・レジェナ:ペルー風コロッケ)	18(1)
第4回	2月19日	タイ編①(ヤムウンセン:タイ風春雨サラダ、 ガパオライス:ひき肉のバジル炒めの乗っけごはん)	21(4)
第5回	3月19日	タイ編②(ゲーンキョウワン:グリーンカレー、 カイチョウムーサップ:タイ風オムレツ)	18(5)
		合計	90(14)

2. 子どもサポート事業

(1)多文化子ども保育 “にこにこ”

地域に暮らす就学前の外国人の子どもたちが、読み聞かせや自由遊びなどの保育を通して、多様な子どもや大人と接し、コミュニケーションを取ることで社会生活に慣れるための場づくり。保護者にとっては子どもと離れて日本語活動活動へ参加したり、自分の時間を持てる場になっている。外国人保護者にとっては、保育の専門知識を持つボランティアへ子育て相談をしたり、幼稚園・保育所のことなど地域の情報を得ることができる場になっている。

実施曜日	時間	回数	ボランティア登録者数	参加者数(のべ人数):うち外国人 ボランティア登録者数(のべ人数)
木曜日	13:30~15:30	45回	3人	子ども(59):うち外国人(59) ボランティア登録者数(121)
金曜日	10:30~12:00	45回	4人	子ども(228):うち外国人(226) ボランティア登録者数(125)
			合計	子ども(287):うち外国人(285) ボランティア登録者数(246)

◆豊中子ども読書推進連絡協議会

豊中市が2005年3月「豊中市子ども読書活動推進計画」(「推進計画」)を、また具体的に推進するために、2006年8月に「子ども読書活動推進計画 実施計画」(「実施計画」)を策定した。11月に豊中市子ども読書活動推進連絡協議会が設置され、すべての子どもの読書環境を整備していくこととなった。国際交流協会もその一端を担い、特に「障害のある子どもや外国人の子ども」の読書環境を整備するワーキンググループに参加し、具体的な事業実施に協力した。「2007年度事業実施報告書」には、協会における子ども読書活動の取り組みが取り上げられ、読書活動において「外国人の視点」が、地域課題の一つとして認識されてきた。しかし、2014年度に第2期実施計画の最終年を迎え、この計画については第2期実施計画終了後「豊中市子育て・子育て支援行動計画」に、その理念が集約されることになった。一方で、子どもと本をつなぐ担い手である関係部局・団体との交流や情報交換、現状確認の場を今後も維持することために、2015年度には「子ども読書活動連絡会議」(仮称)として引き継ぐこととなる。

協会としては、今年度も言語的マイノリティに置かれる外国につながる子どもたちが、乳幼児期から母語や本(絵本)と出会うために、多文化子ども保育にこにこ、おやこでにほんご(岡町・庄内・千里)、子ども母語などの事業で、プログラムに絵本の読み聞かせなどを取り入れたり、センターに外国語絵本コーナーを設けるなど、事業横断的に外国人親子の読書活動推進を行っている。また、11月開催の多文化フェスティバルにおいて、昨年に引き続き多言語絵本(日本語を含め6言語)の読み聞かせをそれぞれの母語で行った。

<ハード面での環境整備>

- ① 外国語絵本コーナーの整理、周知
- ② 市立図書館の外国語図書を配架(半年毎に入れ替え)

<ソフト面での環境整備>

- ① 外国人親子の居場所づくり(おやこでにほんご)での読み聞かせ(母語・日本語)を行った。
- ② 多文化フェスティバルで多言語(日本語を含む6言語)絵本の読み聞かせを行った。

実施日(内容)	場 所
5月29日 第1回推進連絡協議会	いずれも 岡町図書館
6月24日 第1回ワーキンググループ会議	
10月28日 第2回推進連絡協議会の事前調整	
10月30日 第2回ワーキンググループ会議	
11月13日 第2回推進連絡協議会	
12月20日 「子どもを本をつなぐ地域交流会」	
1月22日 第3回ワーキンググループ会議	
2月12日 第3回推進連絡協議会	

◆公民協働子育て支援イベント ～ みんな集まれわくわくランドへの出展協力

市が年に一度開催する子育てイベント。実行委員会に参加し、当日の出し物として今年は「おかまち・おやこでにほんご」ボランティアが世界の楽器・絵本の展示・体験コーナーを運営した。そして事業(おやこでにほんご、日本語交流活動、相談など)の広報をした。

(2)子ども母語教室

外国にルーツを持つ子どもが母語や文化を学ぶことを通じて仲間と出会う場づくりを目的に、中国語、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語の4言語の母語教室を月に2回開催した。母語のスタッフはルーツを持つ大学生で、子どもにとってピア(同じ経験をした仲間)サポーターであると同時に、ロールモデルとしての役割を果たした。

<定例>

実施曜日	時期	時間	回数	参加者数(人)
第2日曜 第4日曜	2014年4月13日 ～2015年3月22日	10:00～12:00	81回	子ども(219)、親(11)、ボランティア(133) 総合計 363人(うち外国人 312人)

<クラス別>

クラス	年間活動回数	参加者数 (人)		合計
中国語	19	子ども 19	ボランティア 33	52
ポルトガル語	21	子ども 113	ボランティア 39	152
スペイン語	21	子ども 75	ボランティア 30	105
インドネシア語	20	子ども 12	ボランティア 31	43
総合計				352

<その他>

実施日	内容	参加者数 (人)		合計
5月11日	【合同イベント】母の日 メッセージカード作り	子ども 18	ボランティア 4	22
7月13日	【合同イベント】ポルトガルのおまつり(フェスタ・ジュニーナ)	子ども 13	ボランティア 6	19
10月26日	【合同イベント】インドネシアの料理(マルタバ・テラン・プラン)作り	子ども 2	ボランティア 10	12
1月25日	【合同イベント】中国の旧正月(装飾物作り)	子ども 13	ボランティア 7	20
3月8日	【合同イベント】スペインの軽食(パピ・ア・ラ・ワンカイナ)作り	子ども 15	ボランティア 8	23
総合計				96

(3)学習支援・サンブレイス

外国にルーツを持つ子どもを対象に、大学生・大学院生ボランティアによる日本語・学習支援を通じた居場所づくりを行った。外国にルーツをもつ学生もボランティアとしてかかわっており、そのことで子どもの悩みやニーズへ柔軟な対応を可能とした。今年度は若者支援に通う「多文化ダンス教室」の子どもたちが教室が終わってから来たため、参加人数が昨年度よりも大幅に増加した。

<定例>

実施日	時期	時間帯	回数	参加者数(人)	
毎週日曜	4月13日～3月30日	13:00～15:00	38	子ども (うち外国人)	389(371)
				ボランティア(うち外国人)	255(138)
				合計 (うち外国人)	644(509)

<その他>

実施日	内容	参加者数(人)	合計
6月29日	サンブレ遠足 (於:伊丹スカイパーク)	子ども(14)、ボランティア(15)	29
8月8・9日	全国外国人生徒交流会 (於:広島市青少年野外活動センター)	子ども(1)、ボランティア(5)	6
8月24日	宿題をやっつけよう!夏休みインテンシブ①	子ども(7)、ボランティア(6)	13
8月26日	宿題をやっつけよう!夏休みインテンシブ②	子ども(5)、ボランティア(2)	7
8月28日	宿題をやっつけよう!夏休みインテンシブ③	子ども(5)、ボランティア(2)	7
8月31日	宿題をやっつけよう!夏休みインテンシブ④	子ども(15)、ボランティア(10)	25
12月21日	クリスマス会	子ども(6)、ボランティア(10)	16
12月27日	もちつき大会 (於:二の切温水プール)	子ども(11)、ボランティア(6)	17
総合計			120

・千成小学校より協力依頼があり、「ミニせんなり」のアドバイザーとして参加した。

	実施日	時間	内容	参加者数(うちボランティア)
1	11月14日	10:45～12:20	第1回 子ども会議	6(5)
2	11月21日	10:45～12:20	第2回 子ども会議	5(4)
3	11月28日	10:45～12:20	第3回 子ども会議	4(3)
4	12月5日	10:45～12:20	第1回 合同会議	5(4)
5	12月12日	10:45～12:20	第2回 合同会議	5(5)
6	1月16日	10:45～12:20	第3回 合同会議	4(3)
7	2月18日	8:45～10:20	第4回 合同会議	1(1)
8	2月25日	8:45～16:00	ミニせんなり本番	2(2)
総数				32(27)

◆子ども事業スタッフ・ボランティア研修

実施日	内容(講師)	参加者数(人)
4月27日	第11回ブラジル移民祭2014 (NPO 法人関西ブラジル人コミュニティCBK)	3
6月29日	ボランティア交流会	16
7月4日	P4C(子どもの哲学)を活用した「こどもの居場所」づくりプロジェクト第3回	1
7月6日	通訳者・相談員スキルアップ講座 第3回	2
10月22日	第3回ブラジル日本教育フォーラム	1
12月8日	子ども事業 ボランティアミーティング①	8
12月20日	子ども事業 ボランティアミーティング②	10
1月18日	子ども・若者事業ボランティア研修①「在留資格って何だろう？」 講師:木村雄二さん(RINK すべての外国人労働者と家族の人権を守る 関西ネットワーク職員)	7
2月15日	子ども・若者事業ボランティア研修②「『居場所づくり』って何だろう？」 講師:阿部寛さん(地域人権学習会「ぼちぼち」) 明石紀久夫さん(特定非営利活動法人「遊悠楽舎」)	6
合計		54

◆関係機関等との連携

実施日	内容	場所	参加者数
4月14日	京都女子大 授業見学およびボランティア募集呼びかけ	京都女子大	5
5月1日	川西市ケースカンファレンス	川西市青少年センター	1
5月22日	池田市立呉服小学校 国際学習全校集会・母国語教室開講式	池田市立呉服小学校	5
6月28日	らいとぴあ21 社会課題セミナー「こども・若者のイマドキの自立を考える連続講座」	箕面市立萱野中央人権文化センター	2
7月5日	「来て見て知って朝鮮学校」生野フィールドワーク	東大阪朝鮮第四初級学校	3
7月24日	豊中市人権教育夏季研究会	ローズ文化ホール	3
7月28日	韓国朝鮮の遊びと文化のつどい「ハギハッキョ」	豊中市立南桜塚小学校	3
8月8日・9日	全国外国人教育推進協議会 生徒交流会	広島市青少年野外活動センター	6
8月21日	大阪府人権教育夏季研究集会	アウィーナ大阪	2
10月26日	「ちびっこうべ」見学	デザインクリエイティブセンター神戸	5
11月15日	「外国人と人権」シンポジウム	オーバルホール	2
2月2日	第20回 兵庫県外国人教育研究集会	宝塚市立良元小学校	1
2月26日	池田市立呉服小学校 国際理解学習全校集会・母国語教室修了式	池田市立呉服小学校	2

子ども相談 合計 119 件

内 容	件数
学習支援	7
母語・母文化学習	0
日本語支援	8
進学／進路	27
就労	3
金銭問題	0
学校でのトラブル	1
家庭内のトラブル	47
保健	19
その他	7
合計	119

◆ 関西子どもの権利条約フォーラム 2014

「子どもの権利条約」が国連で採択されて 25 年、日本が批准して 20 年という節目の年として、公益社団法人子ども情報研究センターを呼びかけ人として、関西子どもの権利条約フォーラム 2014 実行委員会を立ち上げ、フォーラムを開催した。協会は実行委員会のメンバーとしてフォーラムの分科会を担当し、また、“子どもの権利が保障されている関西”の実現に向けた提言書と提言集を発表した。

実施日	内 容	場 所
7 月 22 日	実行委員会顔合わせ、子どもの権利条約について	子ども情報研究センター
8 月 19 日	第 1 回学習会	子ども情報研究センター
9 月 6 日	第 2 回学習会、協会事業についての発表	子ども情報研究センター
10 月 7 日	フォーラム開催に向けたミーティング	子ども情報研究センター
11 月 9 日	関西子どもの権利条約フォーラム(当日)	子ども情報研究センター
12 月 16 日	振り返りミーティング	子ども情報研究センター

Ⅲ. 学校とつながってつくる豊かな未来事業

1. 小学校外国語体験活動事業(豊中市教育委員会受託事業)

豊中市が総合計画で推進している「共に生き共に学ぶ開かれた社会を築く」ために、豊中市市民公益活動条例に基づいて豊中市教育委員会と協働実施している「豊中市小学校英語(外国語)体験活動」提案公募型事業に選定され、受託した(2006年度より)。地域に暮らす外国人(ボランティア)が学校と協働し、地域に根差した社会参加を展開していく可能性を模索することを目指した。

◆事業内容

全豊中市立小学校の3年生から6年生を対象に、国際理解教育の一環として外国語に触れ親しむ体験活動を実施した。その上で、次の3点を柱に据えた「共に学び、創造する心豊かなまちづくり」を推進した。

- ① 教職員や子どもに地域に暮らす異なる言語、価値観、文化を持つ人との豊かな「であい」を提供した。
- ② その「であい」から、もっと知りたい、つながりたいという動機が芽生え、相互理解を促すためのコミュニケーション能力が双方向に向上するよう取り組んだ。
- ③ 学校に在籍する外国にルーツを持つ・外国籍の子どもたちの自尊感情がはぐくまれ、マイノリティの子どものエンパワメントになること、と同時にサポーター自身のエンパワメントにもつながる取り組みをした。

◆実施体制

<ボランティア:英語 22人(9か国)、その他の言語 41人(19か国・地域)、コーディネーター7人>
英語体験活動のボランティアは、英語を第1、第2言語または生活・学習言語としてきた者が中心であった。また英語以外の外国語体験活動ボランティアは、自国のことばと共に、日本語または英語の能力を有する者であった。ボランティアの国籍や年齢、職業、在留資格、来日経緯、滞日歴、日本語の程度はさまざまであった。

◆実施実績

ボランティア数	63人	
ボランティア活動総時間数	1,354時間	
体験子ども数	のべ約14,100人	
英語ボランティア国籍数	9か国 22人	
	内訳	フィリピン、タイ、エクアドル、フランス、バングラデシュ、インド、スリランカ、イラン、インドネシア
外国語ボランティア国籍数	19か国・地域 41人	
	内訳	韓国、中国、フランス、ベトナム、タイ、ブラジル、ロシア、ペルー、イタリア、モンゴル、エジプト、インドネシア、ドイツ、スリランカ、フィリピン、イラン、エクアドル、日本

2. 国際教育推進事業

◆豊中市国際教育推進協議会

文部科学省は2005年8月に「初等中等教育における国際教育推進検討委員会」報告書をまとめた。国際関係や異文化を単に理解するのではなく主体的に行動するための態度や能力の基礎を育成する「国際教育」の必要性を唱え、「国際教育推進プラン」を実施する地域を指定した。豊中市もその一つとして、2008年度までの3カ年の事業に取り組んだ。それを引き継ぐ形で推進プロジェクト協議会を作り、豊中市でユネスコスクールを設立、韓国の教員との交流などを行った。2010年度より「豊中市国際教育推進協議会」を立ち上げた。

2015年1月31日に行われた国際教育フォーラムは、WebTVシステムを活用した韓国・ニュージーランド・アメリカ・豊中市(日本)の4か国会議がもたれ、各国の学校現場での子どもたちの実践交流が行われた。また、各国の教育関係者により持続可能な開発のための教育(ESD)と国際教育について、各国教育関係者からの問題提起がなされた後に、園田学園女子大学の堀田博史さんにより総論的なまとめがなされた。

◆豊中市国際教育推進協議会等の開催について

・協議会の開催 3回

- 第1回 5月20日 取り組みの方向性 年度計画、協働学習プログラム、実務機関の設置について
- 第2回 10月27日 実務担当者会からの報告 協働学習プログラム進捗状況について
- 第3回 2月23日 国際教育フォーラム・実務担当者会・多文化フェスティバル報告

・実務担当者会(ESD実践ガイド) 2回

- 第1回 7月23日 担当者会の目的・実務内容・今後の予定について
 第2回 12月2日 各校園実践紹介、ESD カテゴリーに視点をおいた表について
 ・実務担当者会(日本語指導) 1回
 第1回 8月28日 担当者会の目的、帰国外国人児童生徒の日本語習得状況調査、
 「特別の教育課程」、今後の予定等について

◆2014年度 1/31 国際教育フォーラム テーマ:「フレンドシップ協働学習
 ～つどう・つながる・つちかう 未来への行動力～」
 (於:大阪大学豊中キャンパス)

実施日時	1月31日	9時20分～12時15分
研究報告	テーマ	豊中市国際教育推進協議会の取組み
協働学習(環境) 実践報告	テーマ	米作りをとおして考え取り組む環境学習 身近な生活から取り組むエネルギー問題
	学校名	豊中市立桜井谷小学校、第二中学校(日本:豊中市)
	テーマ	環境に関する責任と自覚と持続可能な実践 生徒主導の環境保全への取組みと環境意識の向上
	学校名	ノースショアモンテッソリス、ボレルミドルS(アメリカ:サンマティオ市)
	テーマ	学校と学校に関わるコミュニティーにおけるゴミ減量への意識の向上 日々の生活に反映させる環境教育をめざして
	学校名	カイアポイボロウS、ノースロバーンS(ニュージーランド:カンタベリー地方)
	テーマ	グリーンプロジェクトで取り組むエコ生活
	学校名	虎元初等学校(韓国:安養市)
スペシャルスピーチ	スピーチ者	サイモングリーン校長(ノースロバーンS:ニュージーランド) Dr シンシアS.シムズ教育委員長(サンマティオ市:アメリカ)
まとめ	講演	「ESDの10年 豊中型国際教育の過去・現在・未来」 (堀田博史教授:園田学園女子大学)
参加者数	145人	

◆帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会

＜豊能ブロック協議会構成団体＞ 計22団体

大阪府教育委員会	豊能地区在日外国人教育研究協議会
池田市教育委員会	池田市在日外国人教育研究協議会
豊中市教育委員会	豊中市在日外国人教育推進協議会
箕面市教育委員会	箕面市在日外国人教育研究会
能勢町教育委員会	能勢町在日外国人教育研究協議会
豊能町教育委員会	豊能町在日外国人教育研究協議会
豊能地区進路保障協議会	豊能地区人権教育研究協議会
池田市進路保障協議会	(公財)とよなか国際交流協会
豊中市進路保障協議会	(公財)箕面市国際交流協会
箕面市進路保障協議会	大阪府在日外国人教育研究協議会
豊能郡進路保障協議会	大阪府立学校在日外国人教育研究協議会

豊能ブロック「多言語による進路ガイダンス」	
実施日時	11月1日 13:00～16:00 ※13:00～14:00 進路説明会 ※14:00～14:20 先輩体験談 ※14:30～16:00 個人相談会
場 所	とよなか国際交流センター
参加者数	108人
内訳	生徒 17人/保護者 14人/通訳者 14人(7か国) 関係者 61人/先輩 2人

3. 多文化子どもエンパワメント事業

(1)とよなか子ども日本語教室

2010年度に始まったとよなか子ども日本語教室から日本語指導者グループ「とよなかJSL」が生まれ、2012年度より、とよなか国際交流協会・とよなかJSL・行政の3者協働事業「とよなかこども日本語教室を拠点とした学習に必要な日本語力・生活力の保障とそのシステム作りのための事業」（「こどもにほんごプロジェクト」）が3ヶ年計画として始まった。協会は指導者（ソフト面）育成、学校や市教委等との連携で支援体制（ハード面）を推進した。

◆子どもの日本語指導者養成講座

実施日	内 容	講 師	参加者
1月17日	「日本語指導実践の前に知っておくこと」 「日本語指導の実際・指導上の基礎」	田中薫(とよなかJSL)／野村亜紀(とよなかJSL)／ 日本語指導ボランティア(とよなかJSL)	14人
	「豊中の日本語指導が必要な子どもの状況」	山本恵信(豊中市教育委員会 人権教育室)／ 金生遵(豊中市教育委員会 渡日帰国児童生徒相 談室)／山本房代(とよなか国際交流協会)	
	「教科学習に結びつく日本語学習」	田中薫(とよなかJSL)／日本語指導ボランティア(と よなかJSL)	

◆とよなかこども日本語教室の運営

豊中市内の日本語指導が必要な児童生徒を対象に日本語学習のための教室を週3回催し、適宜学校とも連絡を取り合った。ボランティアは教室の前後に綿密なミーティングを開き、指導内容の確認や振り返り、子どもの情報交換などを行った。子どもの日本語指導者養成講座を修了したボランティアの継続的なかわりのなかで指導力が向上し、さまざまな子どもの日本語力に応じたカリキュラムが作成されると同時に、子ども同士の相互学習にもつながった。2014年度は、協働団体間の「情報交換会」を月1回程度開催し、日本語指導を必要とする子どものスムーズな受け入れや情報共有に努めた。また、日本語学習相談は32件とほぼ昨年度並みの件数であった。

実施日	毎週月曜 15:00～16:30、16:30～18:00
	毎週木曜 15:00～16:30、16:30～18:00
	毎週土曜 14:00～16:00
場 所	とよなか国際交流センター
期 間	2014年4月10日～2015年3月21日
回 数	125回
参加者数	子ども(のべ 1,023人)、ボランティア(のべ 1,061人)
	見学者(のべ 28人) 計 2,112人
日本語学習相談	32件

◆支援者意見交流会

昨年に引き続き、外国にルーツをもつ子どもや乳幼児に関わる学校園関係者を対象に、協働事業団体と関係者同士の意見交流を目的とした「意見交流会」を実施した。参加者は学校現場や日本語教室での様子を共有し、今後の日本語指導に向けての対応などを相談・確認した。

実施日	テーマ・参加者	参加者数(人)
12月4日	外国にルーツをもつ子どものことばと発達 指導者意見交換会 「子ども日本語教室」に通う子どもに関わる学校園関係者、日本語指導に関わり のある学校園関係者、日本語指導者グループ「とよなか JSL」、豊中市教育委 員会、とよなか国際交流協会	22人

(2)たぶんかミニとよなか

国際教育の推進を図るため、豊中市国際教育推進協議会との共催で多文化フェスティバル(帰国児童生徒、在日コリアン児童生徒・渡日外国人児童生徒など、国際に関わる子どもやその保護者、また国際教育に関心のある先生が、一同につどい、つながり、交流を深める機会)を例年開催している。10 回目を迎える 2014 年度も、大学生ボランティアの企画・運営のもと、子どもたちによる子どものまちづくり「たぶんかミニとよなか」の活動に取り組んだ。教員、支援者、保護者向けには、外国語絵本の読み聞かせやインターナショナル・カフェ、を実施した。

ミニとよなか	学生スタッフ会議 内 容 参加者数	10月5日、11月2日、11月27日 こども会議に向けての下準備、材料収集など 計17人(10/56人、11/26人、11/275人)
	ミニとよなか子ども会議	
	実施日	10月19日、26日、11月9日、16日、23日
	内 容	10月19日:アイスブレイク、コンセプトの説明 10月26日:まちづくりのアイデアを出し合う 11月9日:お店を具体的に作っていく 11月16日:お店作り、地図作り 11月23日:お店作り、お金づくり
	参加者数	10月19日(21人:うち子ども14人、ボランティア7人) 10月26日(19人:うち子ども10人、ボランティア9人) 11月9日(21人:うち子ども14人、ボランティア7人) 11月16日(21人:うち子ども13人、ボランティア8人) 11月23日(24人:うち子ども13人、ボランティア11人)
多文化フェスティバル	11月29日(土) 10時～16時	
場 所	2ABC(国際教育ワーク)、CC スペース(インターナショナルカフェ)、すてっぷホール(たぶんかミニとよなか)	
(参加人数)	多文化フェスティバル(187人、うち外国人85人)	
<テーマ:内容>	<国際教育ワークショップ:内容:「外国語絵本の読み聞かせ」>	
講 師	<インターナショナル・カフェ:内容:高校生によるバリ島との交流発表、中国民族楽器演奏、いじめ克服に関する講演会> 講 師:大阪府立桜塚高等学校の学生、劉国彦さん、ジョン・プリティキンさん <たぶんかミニとよなか:内容:多文化なこどもによる、こどものまちづくり>	

◆南北コリアと日本のともだち展

2001年北朝鮮で起きた飢餓問題を受けて、「21世紀を平和の世紀としたい」という願いのもとに、日本と朝鮮・韓国・在日コリアンの子どもたちの出会いと交流の場として「ともだち展」が東京で始められた。2011年、大阪で実行委員会形式でこの「ともだち展」を大阪国際交流センターならびにとよなか国際交流センターで開催し、今年度は4回目の大阪展であった。今回の絵画展は「わたしのまちにおいでよ!」がテーマであった。

今年度も昨年度に引き続き、協会から韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい実行委員会に呼びかけ、朝鮮半島にルーツを持つ子どもたちに絵画の作成をしてもらった。また、協会事業(子ども母語、サンプルイス)に参加する子どもたちにも声掛けをし、作成してもらった絵画を多文化な子どもたちの絵として、とよなか展、大阪展ともに展示した。とよなか展は豊中市の人権月間に合わせて11月27日～12月6日にかけて開催し、のべ3,121人(うち外国人1,250人)の来場があった。

実行委員会	7月3日、9月1日、10月6日、11月17日、2月5日(計5回)		
メンバー	(特活)アユス仏教国際協力ネットワーク関西事務局、エリーニ・ユネスコ協会 国際教育フォーラム、大阪市小学校教育研究会国際理解教育部会 大阪ユネスコ協会、(公財)大阪YWCA、関西韓国YMCA (特活)コリアNGOセンター、在日韓国基督教会館(KCC)、在日コリアン青年連合(KEY) (公財)とよなか国際交流協会、(特活)とんだばやし国際交流協会		
大阪展	12月12日～12月14日	展示枚数	242点
場 所	大阪国際交流センター	参加者数	439人
豊中展	11月27日～12月6日	展示枚数	80点
場 所	とよなか国際交流センター	参加者数	3,121人(うち外国人1,250人)
子どもワークショップ	①11月28日 ②12月13日		
場 所	①とよなか国際交流センター ②大阪国際交流センター		
内 容	①こどもがつくるこどものまち「たぶんかミニとよなか」		

	※多文化フェスティバル時に絵画展の子どもワークショップとして開催 ②「ともだちに手紙を書こう」「大阪のまち作り」
参加者数	① 82人 ② 11人
トークセミナー	12月13日
場 所	大阪国際交流センター
テーマ(講師)	「ともだち展の14年をふりかえる」(ふりかえり:筒井由紀子さん)
参加者数	20人

(3)若者支援

(文化庁受託事業【平成26年度『生活者としての外国人』のための日本語教育事業】「外国にルーツをもつ若者の生活力・表現力アップ日本語事業」)

外国にルーツをもつ人のなかでも、これまで対象事業の少なかった「若者世代」を対象に様々な講座や活動を行った。2年目となる今年度は、地域における外国にルーツをもつ若者の現状把握や関係機関のヒアリングなどの成果をふまえ、3つの取組と運営委員会を実施した。

◆事業運営委員会

実施日	2014年7月9日、12月16日(計2回)
メンバー	豊中市教育委員会 人権教育室 豊中市教育委員会 帰国・渡日児童生徒相談室 豊中市教育委員会 青少年育成課 豊中市 市民協働部 雇用労働課 豊中市 人権文化部 人権政策室 大阪大学 未来共生戦略機構 特任准教授 大阪大学 未来共生戦略機構 特任助教 地域人権学習会「ぼちぼち」 主宰者

◆Ⅰ.ユース☆ライフプランニング日本語講座

①キャリアアップ日本語講座「おしごとカフェ」

外国にルーツをもつ若者が、多様な人々や考え方に会い、将来の生き方について考える「カフェ」として、毎回テーマを設定し、講座を開催した。安心・安全な雰囲気づくり、同じ外国にルーツをもつ仲間(ピア)との出会える場所としての、場づくりを行った。また、気持ちの表現や働くことに関する日本語表現の習得を目指した。

実施日/期間	5月30日、7月4日、8月29日、9月26日、10月31日、11月22日、12月23日、2015年1月31日、2月27日(計9回) 毎回18:00~20:00
対 象	外国にルーツをもつ若者
場 所	とよなか国際交流センター/おかまちコミュニティカフェ kitto
回 数	9回
内容(一例)	ワークスタイル・ライブラリー(俳優業・女装家であるゲストのお話と公演)(8月29日)/夢かな夜会(参加者それぞれの「夢」「やりたいこと」を共有し、叶える方法を考える)(9月26日)/おしごとおなやみシネマ(外国人を取り巻く労働問題ドキュメンタリーを見て語り合う)(11月22日)
参加者数	若者 のべ104人(うち外国人64人) 講師 のべ10人(うち外国人5人)

《課外活動実績》

実施日	タイトル	会場
12月23日	クリスマス会(「若者の『たまりば』」合同企画)	おかまちコミュニティカフェ kitto

②「～からだところの～フリーダム日本語講座」

若者の「からだ」と「ところ」をテーマに、多感な時期であり社会に出て行く過程にある若者が、興味関心にあった日本語を学びながら、地域社会とつながるきっかけをつくることを目的とした。具体的には、「多文化ダンス教室『わたパチ』」を通じて、ダンスを通じた表現活動・仲間づくりの活動、日本語でのコミュニケーション・自己表現の習得、地域とのつながりづくりなどをおこなった。

実施日／期間	2014年4月3日～2015年3月19日 木曜日 18:00～20:00／日曜日 10:00～12:00
対象	外国にルーツをもつ若者
場所	とよなか国際交流センター
回数	94回
参加者数	若者 のべ 1,029人 (うち外国人 836人) 講師 のべ 94人(うち外国人 94人)

【発表実績】

実施日	タイトル	会場
6月29日	サンブレイスと合同遠足	伊丹スカイパーク
7月31日	ケーブルテレビ「エキスタあつまれ！」出演	駅スタとよなか(阪急豊中駅舎内)
8月3日	豊中まつり「市民ふれあい広場」ステージ発表	豊島公園
9月21日	「豊中駅前フェスタ」パフォーマンス発表	阪急豊中駅前ひろば
9月23日	「豊中ダンスフェスタ」ゲストパフォーマンス	ローズ文化ホール
11月1日	TOYONAKA ブレイクバトル in てしま ゲストパフォーマンス	豊島体育館
11月8日	「国際交流と人権を考えよう パート2」発表	とよなか国際交流センター
2015年3月14日	「しょうない音楽祭」発表	サンパティオホール

◆Ⅱ. ユース☆対話・メディア表現日本語講座

本講座では、若者たちがピアである受講生同士での「対話」活動を通して、人間関係の構築や拡大を目指し、メディア製作を試みることによって、自らの想いや考えを形にする活動を行った。このように、若者の声を引き出されることによって、これまで潜在的であった若者の課題をさまざまな関係機関に認識されていくネットワークづくりも意識した。講座は、メディア作品を鑑賞しながら対話を行う「①対話・表現講座」と、実際にインターネットでメディア作品を放送することを目標とした「②表現・製作講座」の二つの講座を行った。

①対話・表現講座

外国にルーツをもつ若者が、自分自身のライフストーリーや自らのかかえる想い・夢などを他者に伝え、他者の語りに耳を傾けると共に、語りの趣旨やその奥にある想いをひきだすための質問・意見交流をおこなった。対話を促進するために、対話活動を実践しているゲスト講師のお話を聴いたり、映像作品を鑑賞するなど飽きない工夫をこらした。

実施日	4月22日, 5月18日, 6月22日, 8月24日, 9月19日, 10月4日, 2015年1月25日
場所	とよなか国際交流センター
回数	7回
内容一例 (実施日)	多様なルーツをもつ家族のことを扱ったノンフィクション映像作品をみた後、自らの体験や想いを語る(8月24日)／これまで、日本に住む外国人や外国にルーツをもつ人について知る機会がなかった大学生に対して、自らの想いを語り交流する(10月4日)
参加者数	若者 のべ 82人 (うち外国人 39人) 講師 のべ 7人 (うち外国人 5人)

②表現・製作講座

ラジオという「声のメディア」について制作の基礎や番組構成を知り、オリジナル番組を計画することで、メディアを通じた表現の手法を学んだ。また、仲間と共に番組制作、発信など一連のプロセスを経ることで自信をもって自分の意見や想いを日本語で表現することが出来た。

実施日	5月10日, 6月14日, 7月12日, 10月17日, 11月2日, 11月17日, 12月7日, 2015年1月17日, 2月1日, 3月1日, 3月19日(計11回)
場所	とよなか国際交流センター／おかまちコミュニティカフェ kitto
内容一例 (実施日)	ネットラジオの放送方法を体験しよう(11月2日)／30分のネットラジオを配信しよう(12月7日, 2015年, 2月1日, 3月1日)／録音された音源の編集について学ぼう(2015年1月17日)
参加者数	若者 のべ 62人 (うち外国人 35人) 講師 のべ 13人 (うち外国人 11人)

◆ユース☆「た・ま・り・ば」日本語講座

①外国にルーツをもつ若者の『たまりば』

高校生年齢以上の若者が、日常生活や日本語学習における疑問や不安を解消し、安心・安全で心許せる場づくりをおこなった。同じ背景をもつ仲間や先輩、ボランティアらと出会い、料理をつくりながら交流をすすめた。また、地域のイベントや集まりにも参加し、地域市民との関わりをもちながら、活動の幅をひろげた。

実施日/期間	2014年4月3日～2015年3月19日 木曜日 18:00～20:00
対象	外国にルーツをもつ若者
回数	58回
内容一例 (実施日)	ネパールのカレーについて学び、作り方を教えてもらい、一緒につくる(5月8日)／流しそうめんを企画・体験しよう(8月28日)／たこ焼きをつくってみよう(9月11日)／
参加者数	若者 のべ 664人 (うち外国人 366人) 講師 のべ 136人(うち外国人 136人)

【課外活動実績】

実施日	内容	場所
8月2日・3日	豊中まつり2014「市民ふれあい広場」出店	豊島公園
9月7日	夏の風物詩 花火体験	淀川近辺
9月20日	「国際交流と人権を考えよう パート1」出店	とよなか国際交流センター
10月12日	「反貧困フェスタ」出店	扇町公園
11月8日	「国際交流と人権を考えよう パート2」出店	とよなか国際交流センター
12月23日	クリスマス会(「おしごとカフェ」合同企画)	おかまちコミュニティカフェ kitto
2015年1月31日	識字・日本語豊中連絡会(取組発表)	中央公民館

②たまりばエキストラ「本を読む会」

「外国にルーツをもつ若者の『たまりば』」参加者で、日本語で書かれた本に興味を持っている外国にルーツをもつ若者を対象に実施した。自分の好きな本をもちより、他の参加者に紹介したり、好きな本の箇所を文章にして周りの人に発表するなどのワークをおこなった。

実施日/期間	2014年6月27日, 7月25日
対象	外国にルーツをもつ若者
回数	2回
参加者数	若者 のべ 8人 (うち外国人 6人) 講師 のべ 1人(うち外国人 0人)

◆その他

成人式企画 「ハタチフェスタ」 への参加	内 容	【「ハタチフェスタ」企画委員会への参加】 9月17日/12月17日/12月21日 【成人式前日準備】2015年1月11日 【成人式当日出展】2015年1月12日 【後日振り返り】2015年2月26日
	参加者数	延べ 11人(うち外国人3人)
	場所	青年の家いぶき/大阪大学豊中キャンパス

ユースアドバイザー養成 講習会 提案発表会 12月7日(日) 13:00～15:00	内 容	ユースアドバイザー養成講習会受講者によるプログラム提案における、若者支援事業事例紹介
	場 所	青年の家 いぶき

(4)多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト (てーげー部) (公益財団法人庭野平和財団助成事業)

外国人の定住化や国際結婚、日本国籍取得などの増加により、日本生まれ・日本育ち、ダブルの子ども、日本国籍の子ども、また母国と日本を往来する子どもなどが増えており、生育環境、家族形態、国籍や名前など、多種多様な「外国につながる子ども・若者」が存在している。しかし、「外国につながる子ども・若者」は、国籍・民

族・ことば・文化等がひとつに固定されず、特定の活動や枠組みに当てはまらないがゆえに、不安定なまま潜在化する傾向にある。このような外国につながる子ども・若者たちが映像作品の制作を通して、多様な文化の織りなす自分自身を積極的にとらえ、さまざまな形で発信方法を身につけ、これまでの特定の「枠組み」をいったん捨て、「日常」からスタートしようと表現活動に取り組み、出会いの場を創造することを目的として実施した。

「ハーフ」「ダブル」「混血児」「外国人」等についてのイメージや価値観をメディアから一方的に「与えられる」のではなく、自らが表現し発信者となるための方法や力を獲得し、マジョリティ社会へ価値観の問い直しを発信することも目指した。そのために、2014年度はこれまでと継続して2012年度制作の映像作品『ナニジン？—トモダチ作戦—』(10分)の上映会や講演会を豊中市内外で行うと同時に、昨年度沖縄にて行った撮影をもとに次回作品「沖縄作戦(仮)」の制作に取り組んだ。また、横浜への撮影合宿、DVD鑑賞後、感想を寄せてくれた県外在住の外国にルーツをもつ小学生にお礼のビデオレターの撮影・送付、京都府福知山市立図書館において外国にルーツを持つ子どものためのサポートに向けたキックオフミーティングを実施するなど、豊中市内にとどまらない活動を行った。

なお、2014年11月から2015年3月までは、公益財団法人庭野平和財団の助成を受けて活動を行った。

◆映像作品名:『ナニジン？—トモダチ作戦—』(放映時間 10分)

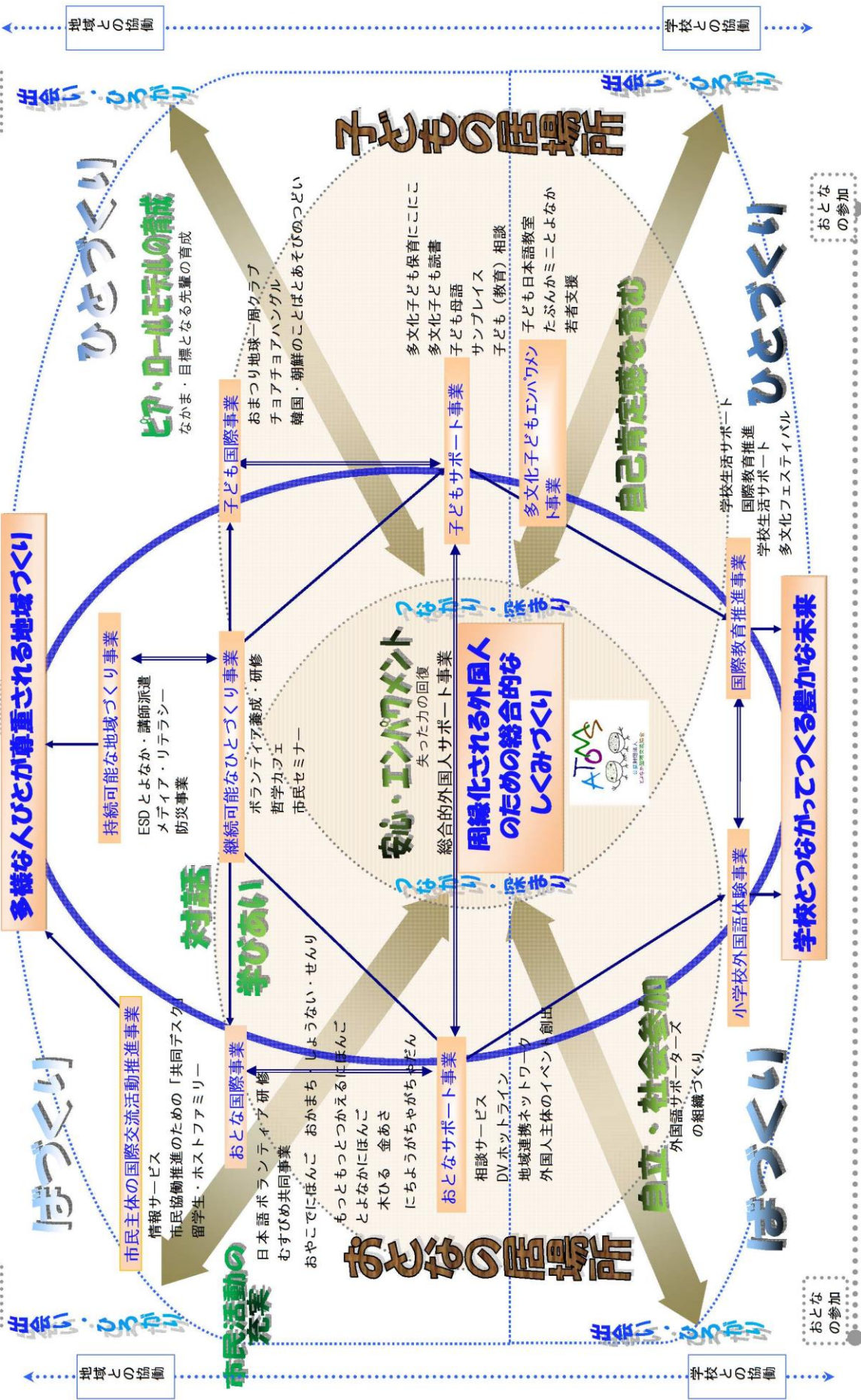
内容:「ダブル、ハイブリッド、クォーター、混血児? 同じ悩みを語る人がみつからない、居場所がみつからない そんなあなたを待っています。この映像は、出発点です。一緒にこの続きをつくりませんか?」

会議 (参加者数)	4月20日(8)、5月4日(8)、5月18日(9)、6月1日(5)、6月2日(3)、6月9日(3)、6月16日(4)、6月22日(5)、7月13日(10)、8月3日(4)、10月19日(8)、1月18日(6)、2月8日(5)、2月15日(5)、3月29日(6) (のべ15回、89人)
撮影・編集 (参加者数)	(1)横浜(根岸)・横須賀撮影合宿:2014年6月28日・29日(3人) (2)ビデオレター撮影、編集:2014年7月27日(5人)、2014年9月23日(4人) (3)「沖縄作戦(仮)」編集:2014年6月2日(3人)、6月9日(3人)、6月16日(4人)、8月18日(3人)、1月5日(2人)、1月25日(2人)、2月22日(3人)、3月1日(3人) (のべ13回、35人)
上映・ 対外関係等 (場所)	①読売新聞取材対応(とよなか国際交流センター)、5月18日 ②文京学院大学登丸ゼミ訪問、「沖縄作戦(仮)」の予告編上映&意見交換会(文京学院大学)6月27日 ③人権学習会における「トモダチ作戦」上映(福岡県糸島市)7月5日、7月19日 ④OSAKA AGAINST RACISM 仲良くしようぜパレード参加(大阪市御堂筋)7月20日 ⑤福知山図書館館長との打ち合わせ(とよなか国際交流センター)9月28日、11月30日 ⑥文京学院大学登丸ゼミ受け入れ、研究発表&意見交換会(とよなか国際交流センター)10月4日 ⑦国際交流と人権を考えようパートⅡにて活動の宣伝(とよなか国際交流センター)11月8日 ⑧移民政策学会にパネリストとして参加、てーげ一部の活動紹介(大阪大学豊中キャンパス)12月13日 ⑨毎日新聞取材対応(とよなか国際交流センター)2015年1月5日 ⑩豊中市成人式における活動紹介(大阪大学豊中キャンパス)1月12日 ⑪福知山訪問、「トモダチ作戦」上映(京都府福知山市中央図書館)3月8・9日

は協会最重点課題である総合的外国人支援事業の範囲をします。

子どもの参加

おとなの参加



IV. 施設管理受託事業

◆とよなか国際交流センター貸室業務

国際交流・男女共同参画目的利用の市民や一般利用者に対して、公平・公正、安全に貸室業務を行った。

年間貸室利用者数(前年度比)	62,054人(15,108人増)
全利用者のうち外国人の利用者数(前年度比)	24,062人(10,581人増)
年間貸室件数	5,768件(533件増)
国際交流目的での貸室件数	4,829件(83.7%)

◆受託事業 とよなか国際交流センター指定管理業務(豊中市からの受託)の施設貸出業務について

① 2014年度(2014年4月～2015年3月)月別・部屋別 使用件数・使用率

月	開館日数	件数	人数	
			合計	うち外国人
4月	25	393	3,413	1,002
5月	27	453	4,274	1,401
6月	26	458	4,669	1,770
7月	26	467	4,543	1,674
8月	27	437	3,495	1,299
9月	26	521	7,170	2,438
10月	26	526	6,118	2,679
11月	26	583	8,446	3,434
12月	24	414	4,787	1,917
1月	24	460	4,631	2,018
2月	24	504	5,379	2,209
3月	27	552	5,129	2,221
合計	308	5,768	62,054	24,062

② 2014年度(2014年4月～2015年3月)月別・部屋別 使用件数・使用率 (単位 上段:件、下段:%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1	件数	33	40	48	40	30	47	47	46	35	35	40	50	491
	使用率	44.0	49.4	61.5	51.3	37.0	60.3	61.8	59.0	48.6	48.6	55.6	61.7	53.3
会議室2A	件数	35	42	45	45	54	53	49	50	40	41	43	46	543
	使用率	46.7	51.9	57.7	57.7	66.7	67.9	64.5	64.1	55.6	56.9	59.7	56.8	58.9
会議室2B	件数	33	44	51	50	54	54	51	53	41	38	42	48	559
	使用率	44.0	54.3	65.4	64.1	66.7	69.2	67.1	67.9	56.9	52.8	58.3	59.3	60.6
会議室2C	件数	48	52	49	49	55	53	51	54	42	42	43	49	587
	使用率	64.0	64.2	62.8	62.8	67.9	67.9	67.1	69.2	58.3	58.3	59.7	60.5	63.7
会議室3	件数	35	33	37	34	30	39	30	45	26	39	34	45	427
	使用率	46.7	40.7	47.4	43.6	37.0	50.0	39.5	57.7	36.1	54.2	47.2	55.6	46.3
会議室4	件数	52	63	53	50	42	55	56	57	42	44	47	55	616
	使用率	69.3	77.8	67.9	64.1	51.9	70.5	73.7	73.1	58.3	61.1	65.3	67.9	66.8
会議室5	件数	49	50	43	52	41	53	54	56	46	50	51	55	600
	使用率	65.3	61.7	55.1	66.7	50.6	67.9	71.1	71.8	63.9	69.4	70.8	67.9	65.1
料理室	件数	26	26	26	34	35	34	33	40	40	37	36	42	409
	使用率	34.7	32.1	33.3	43.6	43.2	43.6	43.4	51.3	55.6	51.4	50.0	51.9	44.4
音楽・健康 づくりルーム	件数	35	40	37	37	37	46	52	49	38	42	49	56	518
	使用率	46.7	49.4	47.4	47.4	45.7	59.0	68.4	62.8	52.8	58.3	68.1	69.1	56.2
和室	件数	8	10	12	20	10	14	21	23	17	17	23	29	204
	使用率	10.7	12.3	15.4	25.6	12.3	17.9	27.6	29.5	23.6	23.6	31.9	35.8	22.1
プレイルーム1	件数	21	23	27	16	11	27	26	36	20	22	29	28	286
	使用率	28.0	28.4	34.6	20.5	13.6	34.6	34.2	46.2	27.8	30.6	40.3	34.6	31.0
プレイルーム2A	件数	11	18	18	23	22	25	29	39	15	29	35	28	292
	使用率	14.7	22.2	23.1	29.5	27.2	32.1	38.2	50.0	20.8	40.3	48.6	34.6	31.7
プレイルーム2B	件数	7	12	12	17	16	21	27	35	12	24	32	21	236
	使用率	9.3	14.8	15.4	21.8	19.8	26.9	35.5	44.9	16.7	33.3	44.4	25.9	25.6
総件数		393	453	458	467	437	521	526	583	414	460	504	552	5768
開館日数		25	27	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308
使用率		40.3	43.0	45.2	46.1	41.5	51.4	53.2	57.5	44.2	49.1	53.8	52.4	48.1

③ 2014年度(2014年4月～2015年3月) **国際交流目的** 月別・部屋別 会議室使用件数・使用率

(単位 上段:件、下段:%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1	件数	31	37	45	37	28	45	43	42	31	33	38	45	455
	使用率	41.3	45.7	57.7	47.4	34.6	57.7	55.1	53.8	43.1	45.8	52.8	55.6	49.3
会議室2A	件数	32	42	44	45	51	52	49	48	38	41	41	45	528
	使用率	42.7	51.9	56.4	57.7	63.0	66.7	62.8	61.5	52.8	56.9	56.9	55.6	57.3
会議室2B	件数	32	42	51	49	53	53	51	50	39	38	40	47	545
	使用率	42.7	51.9	65.4	62.8	65.4	67.9	65.4	64.1	54.2	52.8	55.6	58.0	59.1
会議室2C	件数	46	51	48	48	55	51	51	52	38	41	38	49	568
	使用率	61.3	63.0	61.5	61.5	67.9	65.4	65.4	66.7	52.8	56.9	52.8	60.5	61.6
会議室3	件数	32	32	34	30	29	37	25	41	23	32	31	39	385
	使用率	42.7	39.5	45.3	40.0	38.7	49.3	33.3	54.7	30.7	42.7	41.3	52.0	41.8
会議室4	件数	52	63	53	50	42	55	56	56	41	44	45	54	611
	使用率	69.3	84.0	70.7	66.7	56.0	73.3	74.7	74.7	54.7	58.7	60.0	72.0	66.3
会議室5	件数	46	48	39	50	41	50	50	53	44	48	49	53	571
	使用率	61.3	59.3	50.0	64.1	50.6	64.1	64.1	67.9	61.1	66.7	68.1	65.4	62.0
会議室総件数		271	315	314	309	299	343	325	342	254	277	282	332	3663
開館日数		25	27	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308
会議室使用率		51.6	55.6	57.5	56.6	52.7	62.8	59.5	62.6	50.4	55.0	56.0	58.6	56.8

④ 使用料の収入の状況:

とよなか国際交流センター使用料(平成26年(2014年)4月～平成27年(2015年)3月納付分)

計 1,563,780円

2014年度(2014年4月～2015年3月)安全管理の状況

	①窓の開閉	②パーテーションの開閉事故	③電球取り替え時の事故	④その他の事故	事故があった場合の日時・状況・内容等
4月	無し	無し	無し	無し	
5月	無し	無し	無し	無し	
6月	無し	無し	無し	無し	
7月	無し	無し	無し	無し	
8月	無し	無し	無し	無し	
9月	無し	無し	無し	無し	
10月	無し	無し	無し	無し	
11月	無し	無し	無し	無し	
12月	無し	無し	無し	無し	
1月	無し	無し	無し	無し	
2月	無し	無し	無し	無し	
3月	無し	無し	無し	無し	

V. その他

◆外国人のための茶道教室

今年度より、地域の外国人が日本文化にふれる機会づくりとして、茶道教室を開催した。講師は、裏千家の免状を持つ協会ボランティアが担当した。(会場はすべてとよなか国際交流センター和室)

実施日/期間	4月15日、5月20日、6月17日、7月15日、9月20日、10月21日、11月8日、12月16日、2015年1月20日、2月17日、3月17日
対象	外国人
回数	のべ11回
参加者数	参加者 のべ83人(うち外国人50人) ボランティアは毎回3人(日本語および保育ボランティア)

◆イベント「国際交流と人権を考えよう」「東北復興支援バザー」の開催および登録グループの成果発表の場づくりほか

今年度も、センターでの活動や存在を発信していくと同時に、市民の社会課題への関心を深めるきっかけとして、「国際交流と人権を考えよう」のイベントを2回開催した他、東北復興支援バザーを開催した。このイベントの中で、センターで活動する登録グループに成果発表の機会およびバザーを通じた資金調達の場を提供した。

実施日時	9月20日13:00～16:30、21日10:00～16:00	場所	とよなか国際交流センター	参加者数のべ2,899人
内容	<国際交流と人権を考えよう Part1> ・とよなか国際交流センターで活動する登録グループによる活動発表会 ・岡真理さん講演会(市民セミナーとして開催) ・エスニックカフェ ・福祉のお店コーナー ※売上の一部は東北復興支援のため寄付			
実施日時	11月8日10:00～16:00	場所	とよなか国際交流センター	参加者数のべ2,039人
内容	<国際交流と人権を考えよう Part2> ・協会ボランティア、市関係者、外国人利用者等によるステージ発表(民族舞踊、ダンス教室発表、バンド演奏等) ・東北復興支援バザー ・エスニックカフェ ・福祉のお店コーナー 等 ※売上の一部は東北復興支援のため寄付			

※復興支援義援金 「国際交流と人権を考えよう」パートⅠ、パートⅡおよび東北復興支援バザーで、合計12万円が東日本大震災緊急・復興支援をおこなっている公益財団法人国際開発援助財団に寄付された。

◆視察受け入れ等

	日時	受け入れ	人数(うち外国人)
1	5月15日	大阪大学未来戦略機構	2(0)
2	5月29日	NPO法人エスペランサ	1(0)
3	6月20日	大阪大学	1(0)
4	7月27日、28日	大阪府立箕面東高校・北千里高校(教職員研修)	5(0)
5	7月29日	羽曳野市外国人教育研究協議会	15(0)
6	9月4日、12日	豊中市職員2年目研修	10(0)
7	10月3日	国流ネットワーク	11(2)
8	10月4日	克明小学校	7人(1)
9	10月9日	外国人市民会議	11(7)
10	10月30日	大阪女学院大学	32(2)
11	12月5日	(公財)横浜市国際交流協会	2(0)
12	12月23日	大阪大学「コンフリクトの人文学」	4(0)
13	2015年1月16日	大阪大学未来共生機構第五部門(聞き取り)	1(0)
14	1月25日	植草学園大学発達教育学部	1(0)
15	1月26日	大阪大学未来共生機構第五部門(聞き取り)	1(0)
16	2月3日	NPO法人多文化共生リソースセンター東海	1(0)
17	2月9日	大阪大学未来共生機構第五部門(聞き取り)	1(0)
18	2月27日	堺市国際交流課	2(0)
19	3月23日	大阪府教育委員会	6(0)
		計	114(12)

◆「地域体験学習 CUL(カル)」職場体験 豊中市立中学校の受入れ 10月28日、30日
計2校、4人を受け入れ(第三中学校、第十一中学校より、各校2人ずつ)

◆事業評価会

市民参加型の事業評価会を2月7日に例年通り開催し、今年度の成果や課題について発表した(参加者55人、うち外国人11人)。

◆みんなでデザインする「協会(組織)・活動(人びと)・センター(公共空間)」の5年(通称“デザイン5”)

指定管理を受けた5年間、協会に関わる人々が知恵を出し合い、活動や協会をいっそう活性化させるため、2014年度は①協会事業を広く知ってもらうための「広報」、②活動の垣根を越えた対話の場づくり「さんかふえ」、③外国人が主体となってつくる公共空間づくり「C.C.カフェ」に④東日本大震災について考えつづける機会の提供「東北復興支援」、⑤協会設立20周年を過ぎて、継続して20周年をふりかえる企画「ハタチ+1」の5つの取り組みを行った。1年間の取り組みをまとめ、2月7日の事業評価会で協会関係者に配布し、報告した。

① 広報

協会の活動や協会の存在を広く社会に発信するため、ネット広報の強化に取り組み、ソーシャルネットワーキングサービスでの情報発信(Facebook)をほぼ毎日実施した。プレスリリースを毎月発行したり、地元のケーブルテレビに出演することにより、ネット以外のメディアへの情報発信・情報提供にも取り組んだ。

重点的な取り組み	内 容
ホームページでの発信力強化	・多言語ニュースレターに掲載した情報(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、フィリピン語、インドネシア語)を、ホームページの多言語ページにも掲載し、外国人向けに協会に関する情報を発信した。 ・センターおしらせと多言語ニュースレターをPDF化してホームページからも閲覧を可能とした。
Facebook等、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の利用	Facebookを利用して、活動報告やイベント告知などをほぼ毎日行った。毎朝、その日の協会事業を“本日のATOMS”として紹介して、写真や動画などをアップし、よりわかりやすく伝える工夫を行った。 外国人向けセミナーについては、多言語(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、フィリピン語、インドネシア語、ベトナム語)で情報発信を行った。
ケーブルテレビなどの活用	イベントの際に、ケーブルテレビの番組にスタッフが出演して告知を行った。
メールニュースの配信開始	外国人に協会からの多言語情報を提供するため、多言語ニュースレターの内容をメールニュースとして毎月配信を開始した。

② さんかふえ

立場や活動の垣根を超えた対話の場である。1回2時間、テーマを決めずに参加者とともにその日の活動内容を決める対話の場を月に1回設定。4年目を迎えた2014年度は、協会事業に関わるボランティア、外国人学習者らにも積極的にさんかふえを周知し、様々な活動から多くの参加があった。(共催:大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室)

	実施日	内容(その日に話されたこと)	参加者数 (うち外国人)
第1回	4月8日	打ち合わせ	6(2)
第2回	5月8日	GWで一番良かった出来事/とよなか国流はあなたにとってどんな場所?	15(5)
第3回	6月14日	梅雨は好きですか?/好きなにおいは?/センターで面白いと思ったことは?	7(1)
第4回	7月24日	日課はありますか?/週何回国流にきたい?	4(1)
第5回	8月18日	お盆辺りで何が一番悲しかった/あなたの嫌な体質/最近買ったもの/自分の持っているTシャツで好きながら	9(2)
第6回	9月22日	前期振り返り	4(1)
第7回	10月27日	始めて国流に来た時の思い出は?/秋じたくしていますか?/疲れているときどうなる?	6(0)
第8回	11月13日	どんな赤ちゃんだった?(若者活動支援「若者のたまりば」の中で)	15(8)
第9回	12月20日	とよなか国流(センター)のなおしてほしいところ/今日ほっとしたこと	6(0)
第10回	2月1日	一番楽しい時は何をしているときですか?/大切なことは何ですか?ラジオをききますか?	4(1)
合 計			76人(21人)

③ C.C.カフェ

外国人が主体となってつくる対話の場としての 2014 年度 C.C.カフェは、随時開催され、飲み物等をきっかけに、人びとが集い交流する場づくりが行われた。外国人が主体となる運営から、今年度からは協会のにほんごボランティアで構成する「日本語支援グループ・むすびめ」のボランティアが月に 1 回カフェボランティアとして運営する方式に変更して、センターを利用する外国人および日本人のセンター利用者が交流する場を創造した。

実施日	担い手	参加者数(うち外国人)
5月16日	むすびめ	20(15)
6月20日	むすびめ	35(10)
6月27日	フィリピン	20(8)
7月11日	フィリピン	16(6)
8月22日	ペルー	35(10)
9月12日	マレーシア	30(9)
9月26日	台湾	29(10)
10月3日	フィリピン	35(12)
10月24日	ペルー	34(12)
11月21日	むすびめ	28(11)
11月28日	フィリピン	22(9)
1月16日	むすびめ	32(11)
2月20日	むすびめ	38(13)
3月20日	むすびめ	28(11)
	合計	402(147)

④ 東北支援

東日本大震災以降、豊中で一人ひとりができることを考えつづけるために実施している。「国際交流と人権を考えよう」では、「東北復興支援」をテーマにバザーを実施し、公益財団法人国際開発援助財団に寄付をした。また、12月13日に宮城県南三陸町に住む女子高校生を追ったドキュメンタリー映画「うたごころ<2012年版>」(昨年度上映した同映画<2011年版>の続編)上映会&監督講演会、および終了後監督を囲んでの交流会を開催し、地域でできることを考えるきっかけとした。(参加人数(うち外国人):66人(10人))

⑤ ハタチ+1

2013年度に協会・センター設立 20周年を迎えて、21年目の今年度には 20周年の 1年間のとりくみをまとめた活動フォトブックを関係機関およびボランティアに 4月より配布した。

◆その他会議等の参加・協力

豊中市関係会議(24団体)

公共施設予約システム運営部会	克明小学校区連絡会	識字・日本語とよなか連絡会
みんなあつまれわくわくランド実行委員会	地域支援保育士例会	地域福祉ネットワーク会議
豊中市地域就労支援センター(ケースカンファレンス)	こども政策推進連絡会議	豊中市公益市民活動推進会議
豊中市国際教育推進協議会	豊中市在日外国人教育推進担当者会議	豊中市児童虐待防止ネットワーク会議
豊中市人権啓発市民ネットワーク会議	豊中市人権相談機関ネットワーク会議	豊中市 DV 防止ネットワーク会議
とよなか地域家庭教育協議会	豊中市地域社会福祉活動計画推進委員会	豊中市子ども読書推進連絡協議会
豊中市保健師会	とよなか市民環境会議	ボランティア活動支援団体意見交換会
豊中市南部地域活性化ラウンドテーブル	豊中市協働推進本部会議幹事会	人権関係施設連絡会議

その他(15団体)

大阪教育フォーラム	大阪府自治体国際化推進連絡会議	大阪府自治体国際化推進連絡会議
関西国際交流団体連絡協議会	多文化共生教育部会	大阪府行政相談窓口ネットワーク会議
豊中青年会議所	豊中まつり実行委員会	世界人権宣言豊中連絡会議
大阪大学未来戦略機構	大阪大学大学院臨床哲学研究科	全国ボランティアコーディネーター研究集会実行委員会
関西子どもの権利条約フォーラム実行委員会	豊中市民生委員・児童委員協議会(四地区)	「ひと・まち・出会い夏祭り」実行委員会

◆職員研修

事務局職員の業務推進能力・資質の向上をはかるため、以下研修・勉強会に参加(もしくは主催)した。また、2015年度研修計画を策定した。(協会主催の研修会は㊦印で太字)

実施日	内容(主催)
4月10日	法人運営対策特別セミナー(全国公益法人協会)
4/18、5/21、6/13、7/18、8/21、9/16、9/18、9/26、10/22、11/12、11/28、12/11、1/22、1/26、2/9、2/24、3/6	定例講座(全国公益法人協会、公益法人協会)
4月27日	第11回ブラジル移民祭(海外移住と文化の交流センター)
5月31日	第1回まちと人と共生「多文化とともにいきるまちー大阪茨木・豊川を歩く」(ヒューライツ大阪・大阪大学未来共生プログラムイノベーター博士プログラム)
6月20日	人権問題事業者学習会(市人権政策室)
6月21日	府外教研究集会(府外教)
6月28日	らいとびあ21社会課題セミナー「こども・若者のイマドキの自立を考える連続講座」(箕面市立萱野中央人権文化センター)
7月5日	来て見て知って朝鮮学校生野フィールドワーク(大阪朝鮮第四初級学校)
7月6日	通訳者・相談者スキルアップ研修(RINK)
7月6日	ボランティア・コーディネーター研修(大阪ボランティア協会)
7月9日	クレーム対応実践講座(豊中市商工会議所)
7月17日、18日	防火管理者講習(豊中市消防署)
7月20日	「アリラン峠をこえていく」(国立民族学博物館)
7月22日	「子どもの権利条約について」(関西子どもの権利条約フォーラム)
7月27日	封鎖下のガザは今(大阪城南キリスト教会)
7月24日	豊中市人権教育季研究会(豊中市人研)
8月8日	指定管理管理総合評価セミナー(大阪府社労士会)
8月19日	第1回学習会:フォーラム参加団体の活動紹介(関西子どもの権利条約フォーラム)
8月22日	「多文化共生」を考える研修会2014(公益財団法人兵庫県国際交流協会、KFC)
8月24日	ヒューマンドキュメンタリー映画祭「60万回のトライ」「SAYAMA」(同実行委員会)
9月1日、2日	防火管理者講習(豊中市消防署)
9月6日	第2回学習会「子どもにとって、子どもの権利が保証されている関西の実現に向けて」(関西子どもの権利条約フォーラム)
9月14日	ユースアドバイザー養成講習会(豊中市青少年育成課)
9月25日	朝鮮学校を考える(豊中市人権まちづくりセンター)
9月27日	ユースアドバイザー養成講習会(豊中市青少年育成課)
11月15日	外国人の人権(法務省、公益財団法人人権教育啓発推進センター)
11月27日	女性視点で考える防災ワークショップ(とよなか男女共同参画推進財団)
12月8日	とんだばやし人権セミナー 「災害時、《やさしい日本語》で情報を伝える」(とんだばやし国際交流協会)
12月13日	移民政策学会セッション2 「外国にルーツを持つ若者たちの様々な発信で変える社会」(移民政策学会)
12月17日	認知症サポーター養成講座(豊中市)
12月17日	㊦ソーシャルチェンジのための体験型ワークショップ
1月18日	㊦在留資格を知らう&学ぼう
1月22日	平成26年度DV被害者の地域支援者養成講座(大阪府)
1月27日	池田市立呉服小学校 公開研究授業
2月1日	第20回兵庫県在日外国人教育研究集会(兵庫県在日外国人教育研究協議会)
2月14日	「佐野由美作品展&with・・・若き女性美術作家の生涯上映会」(同実行委員会)
2月15日	㊦「『居場所づくり』って何だろう？」
2月18日	地区人権実践交流会:多文化共生分科会(豊能地区人権教育研究協議会)
2月27日	学習会「ヘイトスピーチ問題」(豊能地区人権教育研究協議会)
2月28日	識字・日本語教育研究集会(大阪教育大学教職教育研究センター/識字日本語学習研究集会実行委員会)
3月1日	JVCC シンポジウム「支援「する側」「される側」を超えるコーディネーション」(全国ボランティアコーディネーター研究集会2015実行委員会/JVCA 特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会)
3月2日	子どもの貧困について(豊中市人権相談機関ネットワーク会議)